人と技術で次代を拓く
MEITEC
Engineering Firm at The Core

2022年3月期　決算説明資料

2022年5月12日

株式会社メイテック
代表取締役社長　グループCEO
國分 秀世

目次

1. 2022年3月期 業績

2. 中期経営計画の進捗

3. 2023年3月期 業績予想

4. ご参考資料

- 本日はメイテック決算説明会にご参加いただきありがとうございます。
- では、2022年3月期 業績、中期経営計画の進捗、2023年3月期 業績予想、を説明させて頂きます。
- 「ご参考資料」は、のちほどご覧ください。

1. 2022年3月期　業績

人と技術で次代を拓く
MEITEC
Engineering Firm at The Core

- まず、2022年3月期の業績を説明します。

2022年3月期業績　グループ連結

MEITEC 人と技術で次代を拓く Engineering Firm at The Core

✓ 前期比で売上高は10.9%増収、営業利益は25.2%増益
✓ 当期純利益は、メイテック、メイテックフィルダーズの税負担軽減により、前期比で31.5%の増益

（百万円未満切捨て）	2021年3月期 実績	2022年3月期 実績	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率	2022年3月期 通期予想	予想比 増減額
売上高	96,626	107,140	＋10,514	＋10.9%	107,000	＋140
売上原価	72,203	78,917	＋6,714	＋9.3%	78,600	＋317
原価率	74.7%	73.7%	▲1.1%			
販売管理費	14,188	15,405	＋1,217	＋8.6%	16,100	▲695
営業利益	10,234	12,817	＋2,582	＋25.2%	12,300	＋517
営業利益率	10.6%	12.0%	＋1.4%		11.5%	＋0.5%
経常利益	10,306	12,948	＋2,641	＋25.6%	12,500	＋448
特別損益	△4	△ 5	—			
税引前当期純利益	10,301	12,942	＋2,640	＋25.6%		
親会社株主に帰属する当期純利益	7,028	9,240	＋2,211	＋31.5%	8,400	＋840
当期純利益率	7.3%	8.6%	＋1.4%			
自己資本当期純利益率（ROE）	15.8%	20.6%	＋4.8%			
総資産経常利益率（ROA）	13.5%	16.5%	＋3.0%			

7

- グループ連結の業績です。
- 2022年3月期は、新型コロナウイルス感染症の影響により、断続的に経済活動が制限されるなど、先行きは依然として不透明な状況ですが、経済活動が正常化に向かう中、当社のお客さまである大手製造業各社においても、次代を見据えた技術開発投資は徐々に持ち直しが進み、当社の受注も順調に回復しました。
- このような状況の中、売上高は、前期比10.9%増収の1,071億40百万円、営業利益は25.2%増益の128億17百万円、当期純利益は31.5%増益の92億40百万円となりました。
- なお、売上高は稼働率、稼働時間が予想を上回ったため、営業利益は販管費の費消が予想を下回ったため、それぞれ予想を上回りました。

2022年3月期　グループ・セグメント

✓ エンジニアリングソリューション事業、エンジニア紹介事業共に前期比で増収増益

（百万円未満切捨て）	2021年3月期 実績	2022年3月期 実績	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率
エンジニアリングソリューション事業 売上高	95,521	105,715	＋10,194	＋10.7%
構成比	98.9%	98.7%	▲0.2%	
営業利益	9,960	12,343	＋2,382	＋23.9%
エンジニア紹介事業　売上高	1,216	1,530	＋313	＋25.8%
構成比	1.3%	1.4%	＋0.2%	
営業利益	273	474	＋200	＋73.1%

8

- グループ・セグメントの業績です。
- エンジニアリングソリューション事業は
  前期比で売上高は10.7%の増収、
  営業利益は23.9%の増益となりました。
- エンジニア紹介事業は、紹介決定数の増加等により、
  増収増益となりました。

2022年3月期業績　メイテック

人と技術で次代を拓く MEITEC Engineering Firm at The Core

- ✓ 前期比で売上高は7.8%増収⇒エンジニア社員増員と稼働率の改善に伴う稼働人員数の増加など
- ✓ 営業利益は22.6%増益⇒売上高増収が、エンジニア社員増員に伴う労務費等原価の増加と販管費増加等を吸収したため

（百万円未満切捨て）	2021年3月期 実績	2022年3月期 実績	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率	2022年3月期 通期予想	予想比 増減額
売上高	71,452	77,010	＋5,557	＋7.8%	77,000	＋10
売上原価	53,438	56,503	＋3,064	＋5.7%	56,300	＋203
原価率	74.8%	73.4%	▲1.4%		73.1%	＋0.3%
販売管理費	9,414	9,960	＋546	＋5.8%	10,500	▲540
営業利益	8,600	10,546	＋1,946	＋22.6%	10,200	＋346
営業利益率	12.0%	13.7%	＋1.7%		13.2%	＋0.4%
経常利益	9,547	11,125	＋1,578	＋16.5%	10,800	＋325
特別損益	△ 4	△ 5	—			
税引前当期純利益	9,542	11,120	＋1,577	＋16.5%		
当期純利益	6,823	8,051	＋1,228	＋18.0%	7,500	＋551
稼働率（全体）	90.4%	94.3%	＋3.9%		93.8%	＋0.5%
稼働時間〈h/day〉	8.31	8.42	＋0.11	＋1.3%	8.40	＋0.02
採用数〈名〉	562	628	＋66	＋11.7%	702	▲74
新卒採用数	399	462	＋63	＋15.8%	462	—
中途採用数	163	166	＋3	＋1.8%	社内目標 240	▲74
退職率	5.6%	5.8%	＋0.2%		5.4%	＋0.4%
エンジニア社員数〈名〉	7,281	7,472	＋191	＋2.6%		

9

- メイテック単体の業績です。
- 積極採用によりエンジニア社員数の増加と、稼働率改善に伴う、稼働人員数の増加により、
  売上高は前期比7.8%増収の770億10百万円、
  営業利益は22.6%増益の105億46百万円、
  当期純利益は18.0%増益の80億51百万円となりました。
- なお、エンジニア社員数は、前期比で2.6%の増員、
  稼働率は、受注環境の回復に伴い、受注に対する配属を進められたことから、前期比＋3.9%増加の94.3%となりました。
- 稼働時間につきましては時間外労働の回復により、前期比で増加し、1日当たり8.42時間という水準になりました。

2022年3月期業績　メイテックフィルダーズ

人と技術で次代を拓く MEITEC Engineering Firm at The Core

✓ 前期比で売上高は21.1%増収、営業利益は46.9%増益、エンジニア社員数は11.8%増加
✓ 当期純利益は、税負担の軽減により、前期比で66.0%の増益

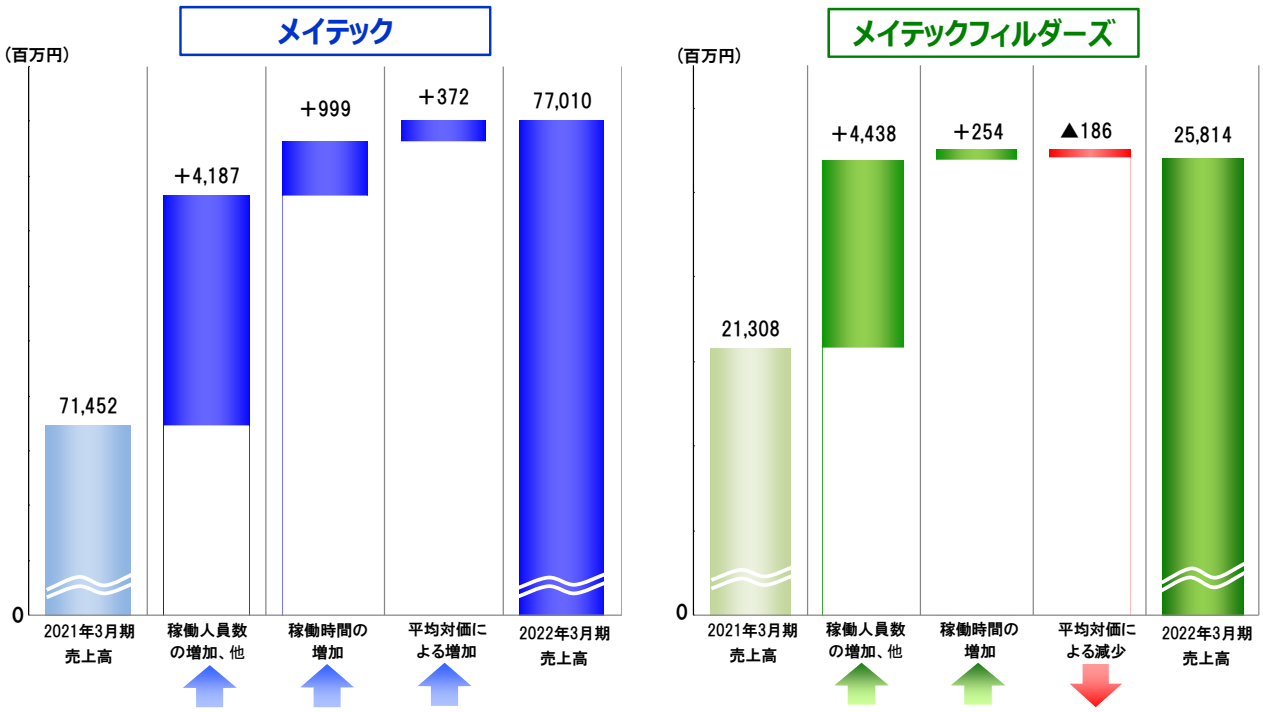
（百万円未満切捨て）	2021年3月期 実績	2022年3月期 実績	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率	2022年3月期 通期予想	予想比 増減額
売上高	21,308	25,814	＋4,505	＋21.1%	25,600	＋214
売上原価	16,542	20,015	＋3,472	＋21.0%	19,750	＋265
原価率	77.6%	77.5%	▲0.1%		77.1%	＋0.4%
販売管理費	3,586	4,067	＋480	＋13.4%	4,300	▲233
営業利益	1,178	1,731	＋552	＋46.9%	1,550	＋181
営業利益率	5.5%	6.7%	＋1.2%		6.1%	＋0.7%
経常利益	1,177	1,732	＋555	＋47.1%	1,550	＋182
特別損益	—	—	—			
税引前当期純利益	1,177	1,732	＋555	＋47.1%		
当期純利益	805	1,337	＋531	＋66.0%	1,060	＋277
稼働率（全体）	85.0%	89.0%	＋4.0%		88.7%	＋0.3%
稼働時間〈h/day〉	8.29	8.39	＋0.10	＋1.2%	8.38	＋0.01
採用数〈名〉	839	913	＋74	＋8.8%	1,102	▲189
新卒採用数	217	302	＋85	＋39.2%	302	—
中途採用数	622	611	▲11	▲1.8%	社内目標 800	▲189
退職率	9.3%	13.5%	＋4.2%		12.5%	＋1.0%
エンジニア社員数〈名〉	3,394	3,793	＋399	＋11.8%		

10

- メイテックフィルダーズの業績です
- メイテック同様、エンジニア社員数の増加、稼働人員数の増加などで、
  売上高は前期比21.1%増収の258億14百万円、
  営業利益は46.9%増益の17億31百万円、
  当期純利益は66.0%増益の13億37百万円となりました。
- 積極採用により、エンジニア社員数は前期比で11.8%と大きく増員しました。
- 稼働率は、エンジニア社員数の増加に加え、メイテック同様、受注環境の回復に伴い、配属を進められたことから、前期比で4.0%増加の89.0%となりました。
- なお、稼働時間はメイテックと同様の理由で、前期比で増加し、8.39時間の水準となりました。

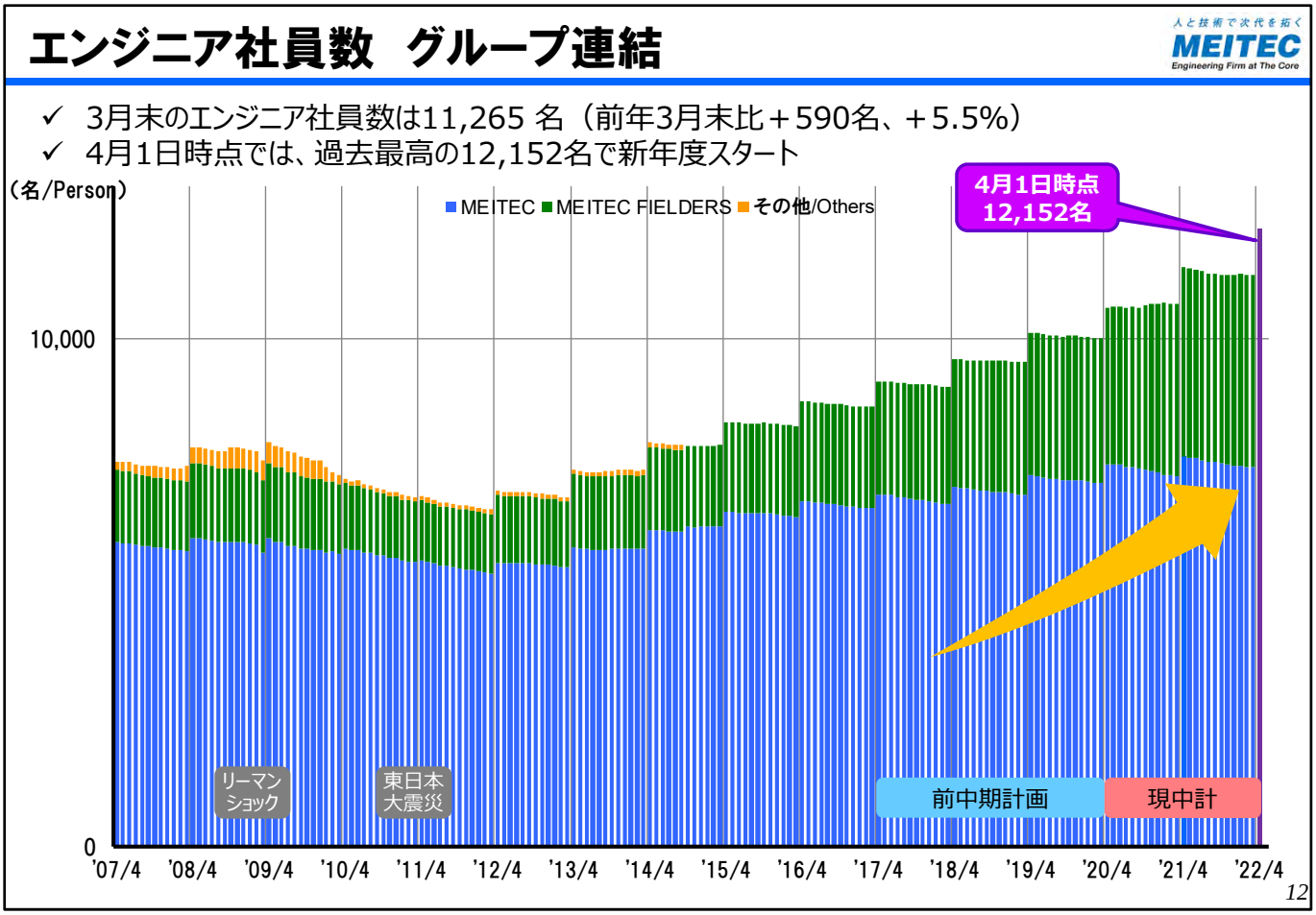
売上高前年同期比較

✓ メイテック、メイテックフィルダーズ共に、増収の主要因は「稼働人員数の増加」「稼働時間の増加」

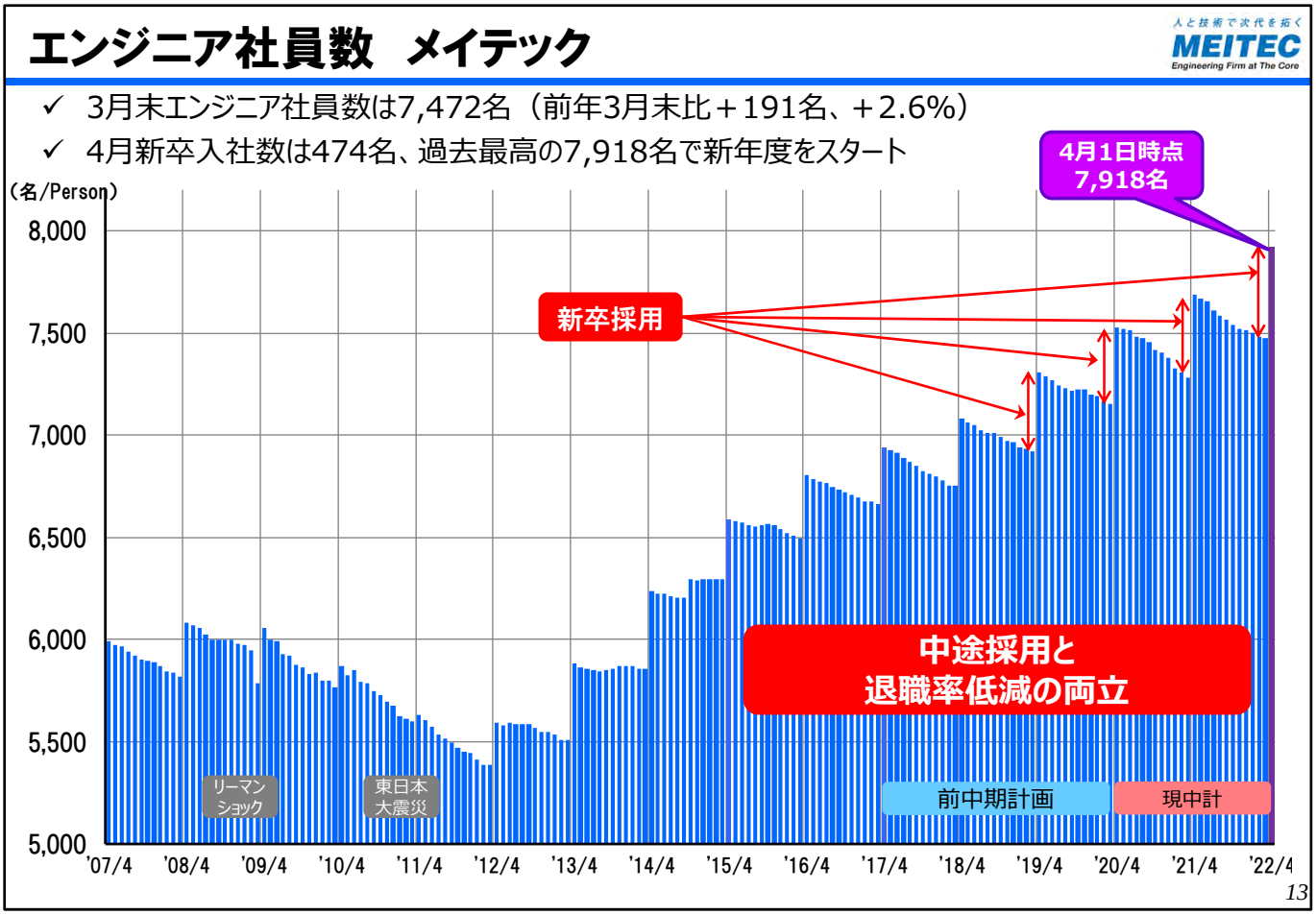


11

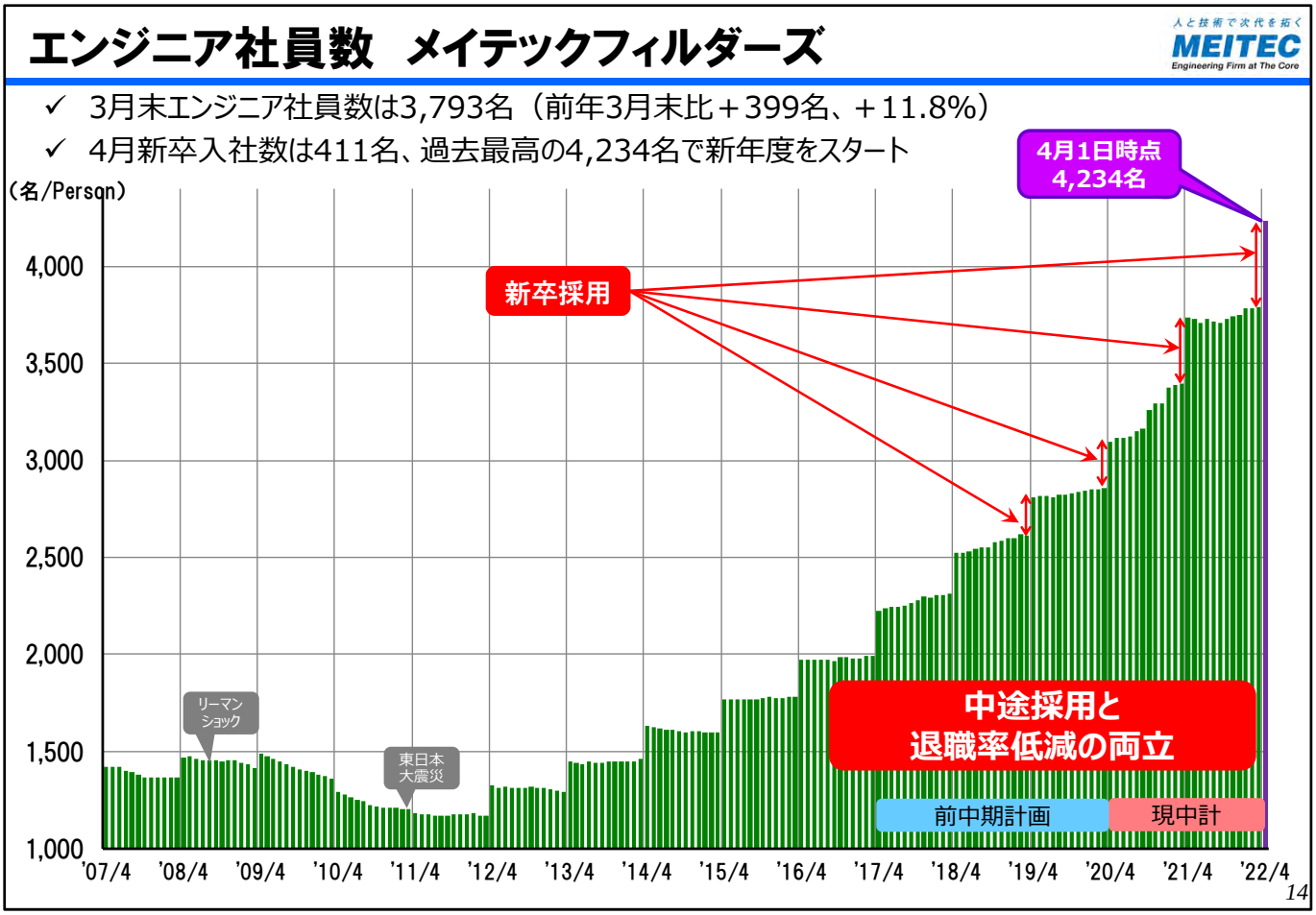
- メイテックとメイテックフィルダーズの売上高で、前年同期対比の増減内訳です。
- 増収の主な要因は、メイテック、メイテックフィルダーズ共に「稼働人員数の増加」、「稼働時間の増加」です。
影響額は記載の通りとなっています。



- グループのエンジニア社員数の推移です。
- 3月末のエンジニア社員数は、
  前年3月末比＋590名、＋5.5%増の11,265名、
  4月1日には、新卒社員を迎え、過去最高の12,152名で
  新年度をスタートしました。
- メイテック、メイテックフィルダーズ共に順調に増員ができております。



- 続いて、メイテック単体のエンジニア社員数の推移です。
- 3月末のエンジニア社員数は、前年3月末比＋191名、＋2.6%増の7,472名、4月1日に新卒社員474名を迎え、過去最高の7,918名で新年度をスタートしております。



- メイテックフィルダーズのエンジニア社員数の推移です。
- 3月末のエンジニア社員数は、前年3月末比＋399名、＋11.8%増の3,793名となりました。
  また、4月1日に新卒社員411名を迎え、
  過去最高の4,234名で新年度をスタートしております。

2022年3月期の採用実績

人と技術で次代を拓く MEITEC Engineering Firm at The Core

中途採用（2022年3月期）

- 即戦力技術者ニーズは、コロナ禍以前よりさらに過熱し、採用環境は厳しい状況が継続

✓ **採用基準を保持しつつ、中長期の成長、発展を見据えた積極採用を推進**

✓ **採用チャネルの拡大による有効母集団形成に苦戦**

新卒採用（2022年4月入社）

- コロナ禍で学生の就活手法や企業選択の多様化が進む中、企業の理系採用ニーズは更に高まり、採用競争は激化

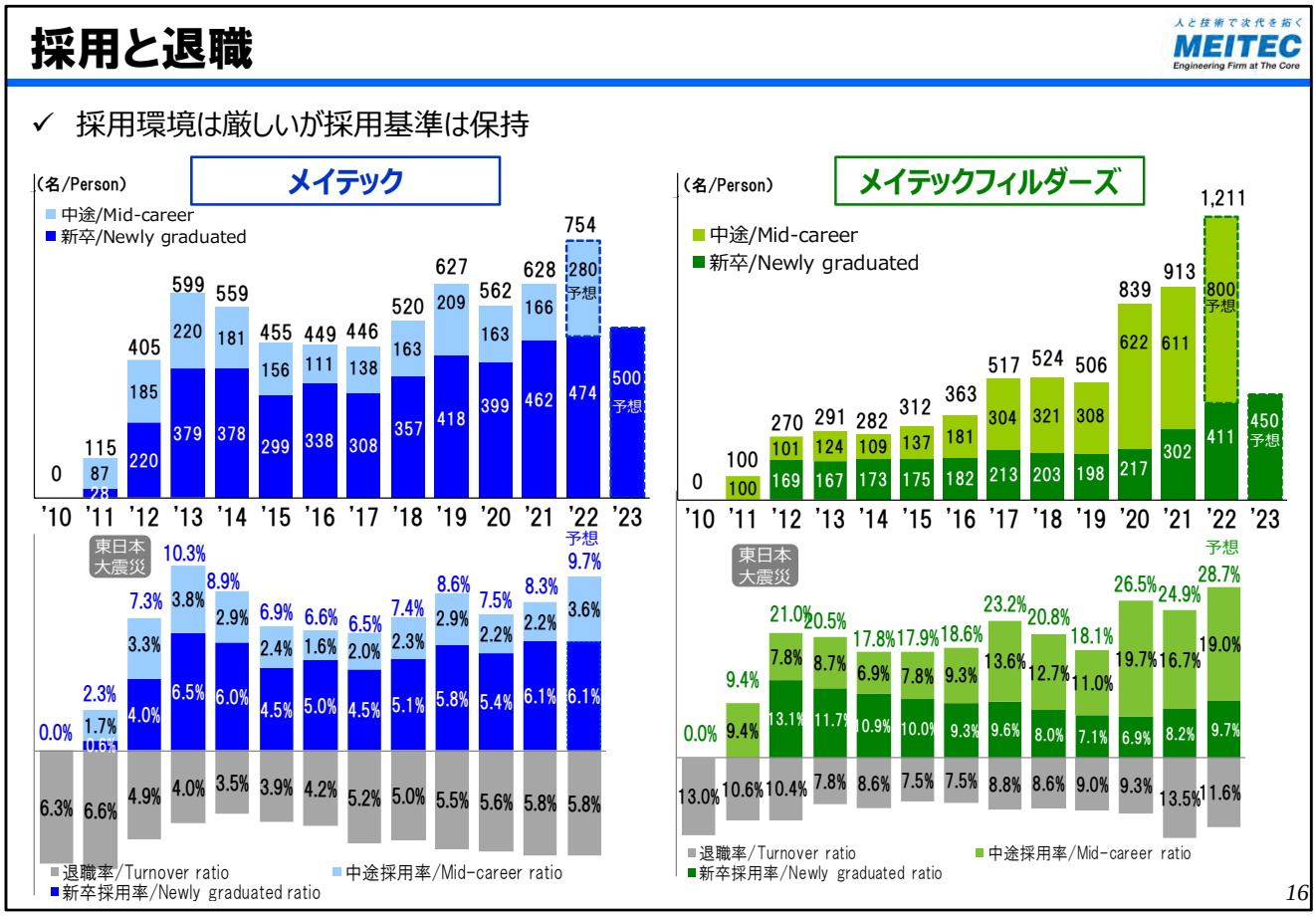
✓**採用人数は前期比を上回ることができた**

✓**これは、学生の安全確保を第一にしつつ、コロナ禍においても学生志向（成長意欲等）を大切にし、生涯プロエンジニアとしての働き方を訴求する採用活動を実行できたことが主因**

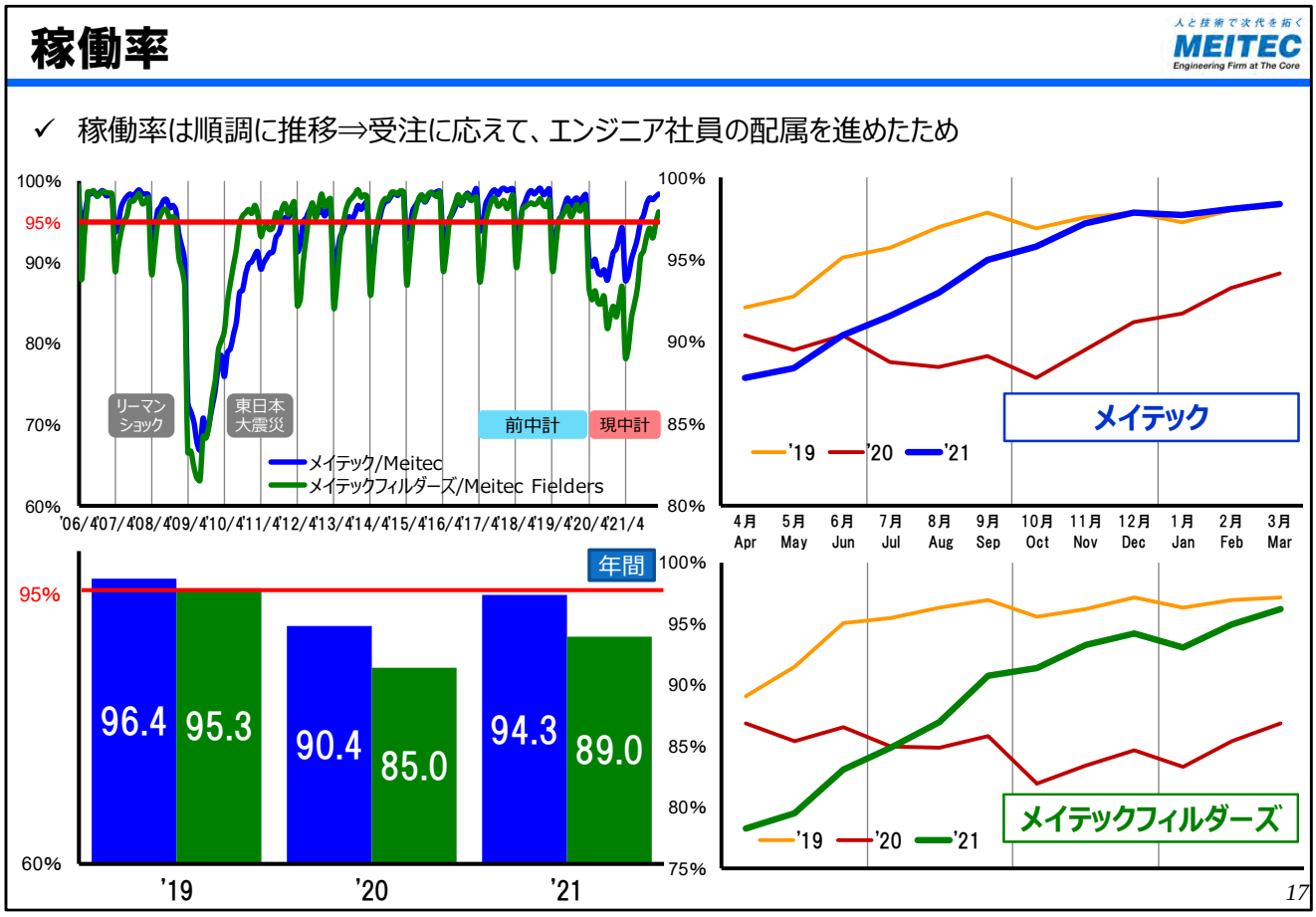
(名)	2022年3月期(2021年度)								2023年3月期(2022年度)				
	21年4月入社新卒採用数	中途採用数					採用数合計		22年4月入社新卒採用数				
		期初社内目標	10/28公表社内目標		期初目標比	10/28公表比		前期比	期初予想	10/28公表内定者数		期初予想比	前期比
メイテック	462	240	240	166	▲74	▲74	628	+66	480	499	474	▲6	+12
メイテックフィルダーズ	302	1,000	800	611	▲389	▲189	913	+74	400	424	411	+11	+109
合計	764	1240	1040	777	▲463	▲263	1,541	+140	880	923	885	+5	+121
21年3月期比	+148			▲8			+140			10/28公表比	▲38		

15

- 次に、採用の状況です。
- まず、中途の採用市場は、即戦力技術者ニーズの高まりを受け、コロナ収束後の拡大成長に向けて各社で採用活動は過熱しております。
  採用環境は厳しい状況が継続していますが、採用基準を保持した上で、チャネル拡大等、さまざまな工夫をこらして積極採用を推進しました。結果としてグループ全体の採用人数は、社内目標を下回りましたがこの水準の採用ができています。
- 次に、新卒採用です。
- 企業の理系学生の採用ニーズは依然として衰えておりません。厳しい環境の中でも、採用基準保持を前提に、コロナ禍ではありますが学生の皆様、ご家族、大学の皆様に、安心安全を感じてもらえるように、柔軟、かつ機動的に、さまざまな工夫をこらした結果、
  グループ全体で、前期比＋121名の採用人数増加を達成しました。



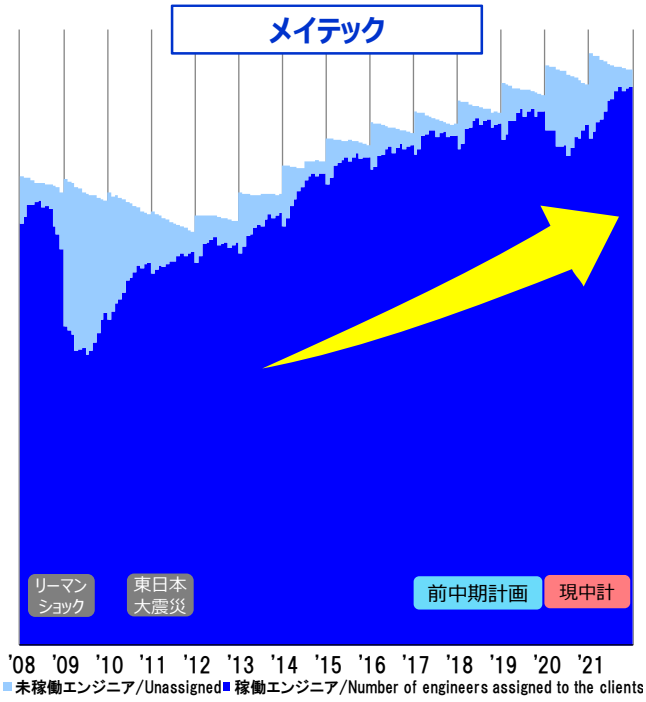
- 採用者数と採用率・退職率の推移です。
- メイテックの2021年度の採用率は8.3%で、伸び率は昨年より増加しました。
  一方、退職率は5.8%と引き続き低い水準を維持しており、その結果として、増員に寄与しました。
- メイテックフィルダーズの2021年度の採用率は24.9%で、伸び率は昨年より若干減少しましたが引き続き高い水準で推移しております。
  退職率は13.5%と、昨年より増加しました。
- 2022年度の予想は、昨年に引き続き、メイテックフィルダーズの中途採用で増加を見込んでいます。
- 詳細については、のちほど説明します。

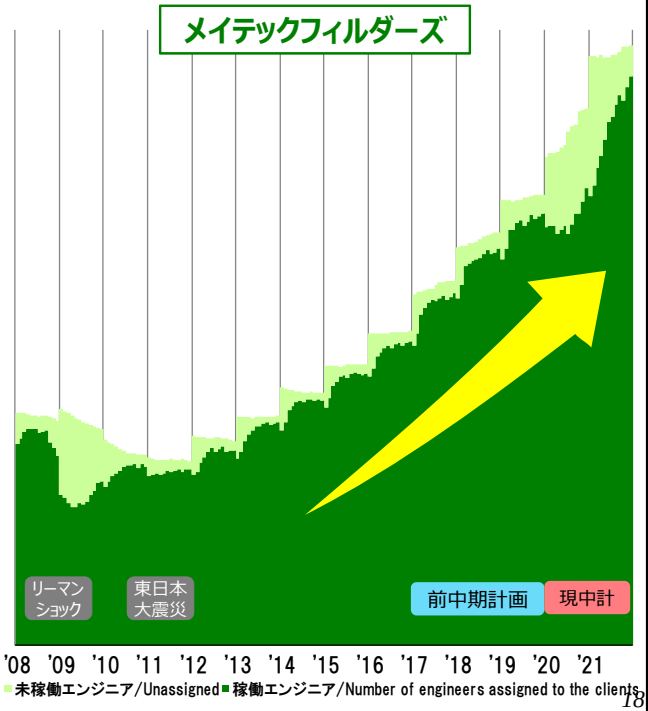


- 稼働率の推移です。
- メイテック、メイテックフィルダーズ共に、
  受注環境の回復に伴い、受注に応えて配属を促進した
  結果、稼働率は順調に増加しています。

稼働人員数（売上の主要素）

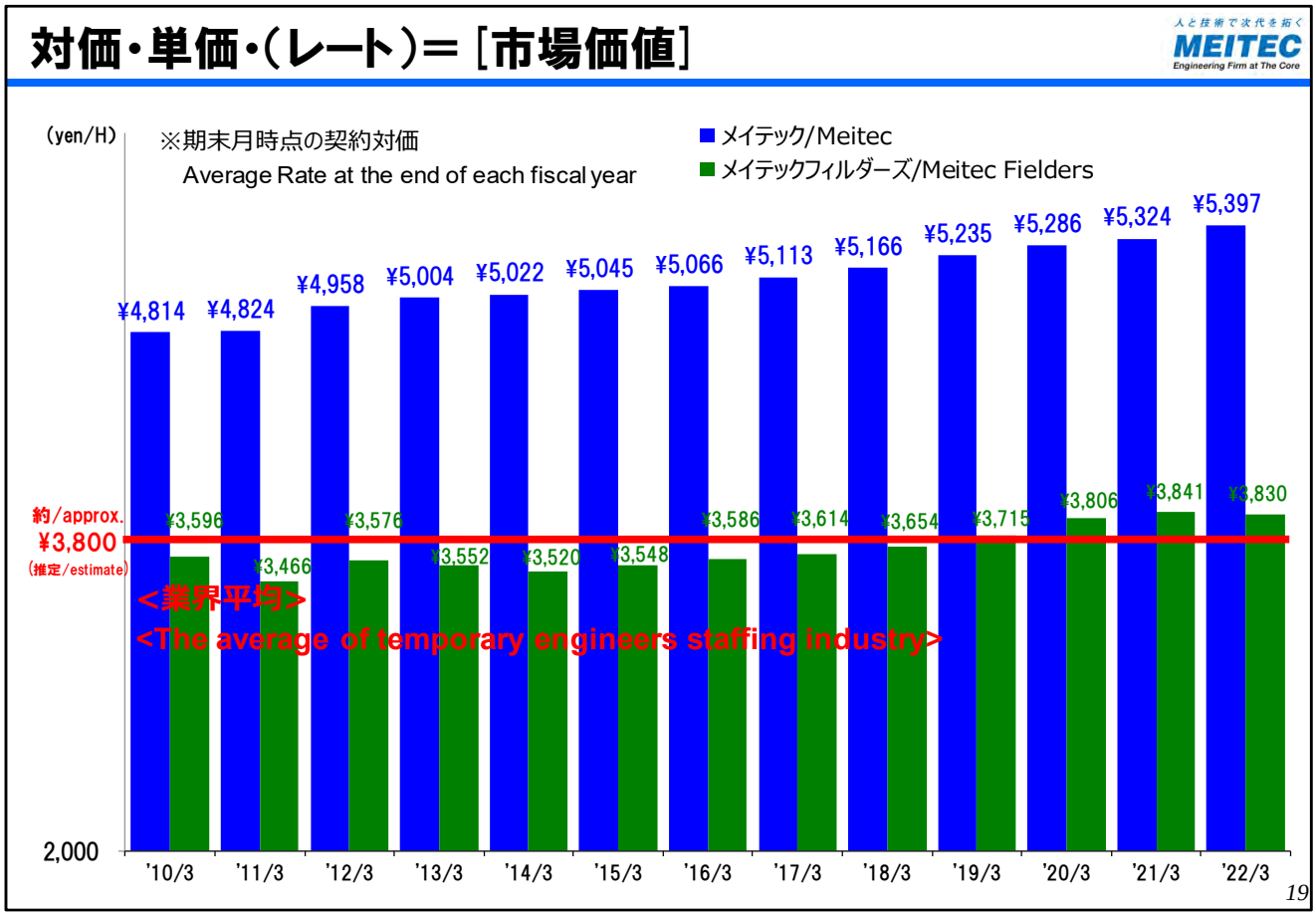
✓ 積極採用でエンジニア社員数は増加、また、受注に応えて配属を進めた結果、稼働人員数も増加



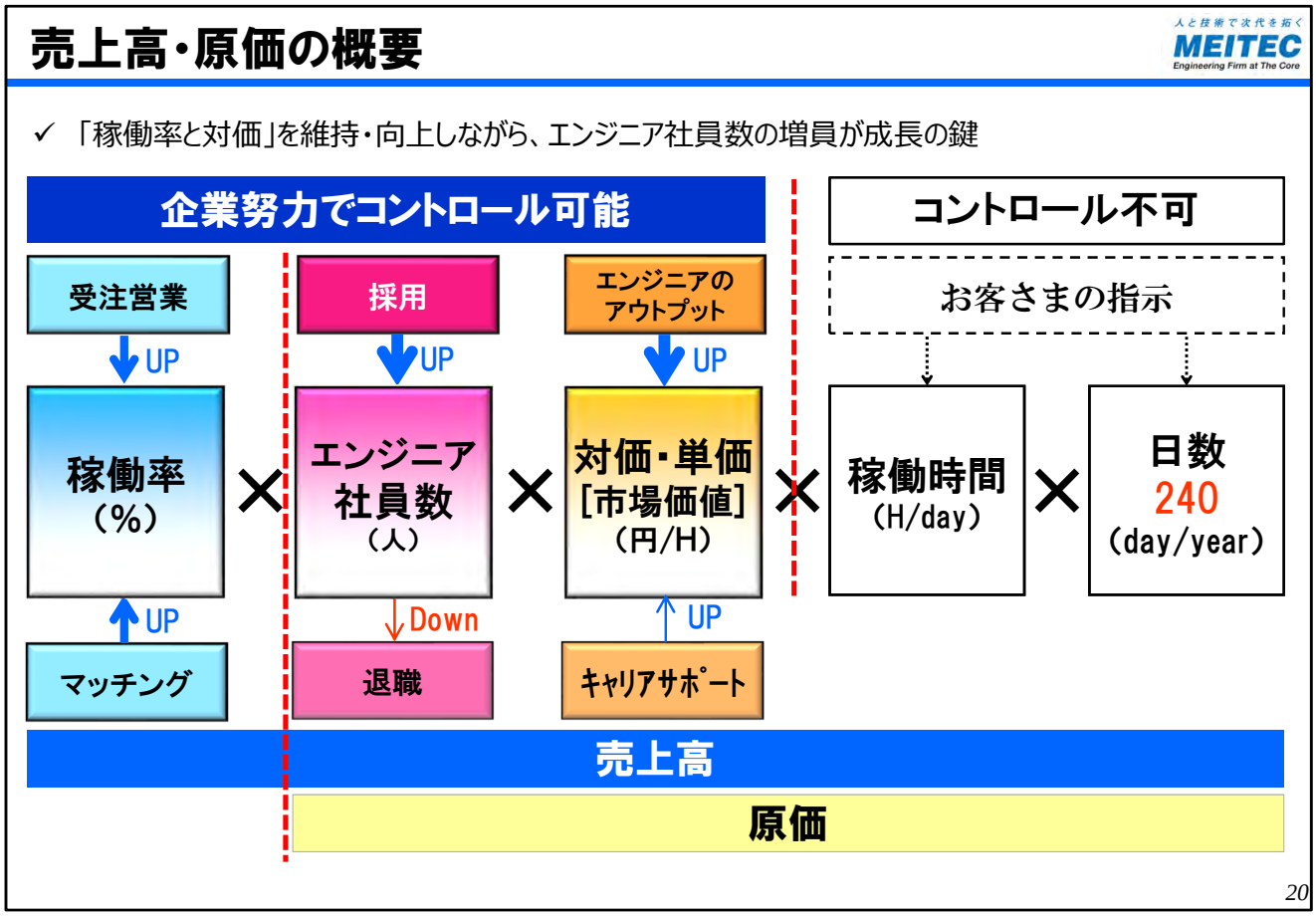


18

- 稼働人員数の推移です。
- 感染拡大前からの積極採用による「エンジニア社員数の増加」と、受注に応えて配属を進めた結果、稼働人員数は確実に伸長している状況です。



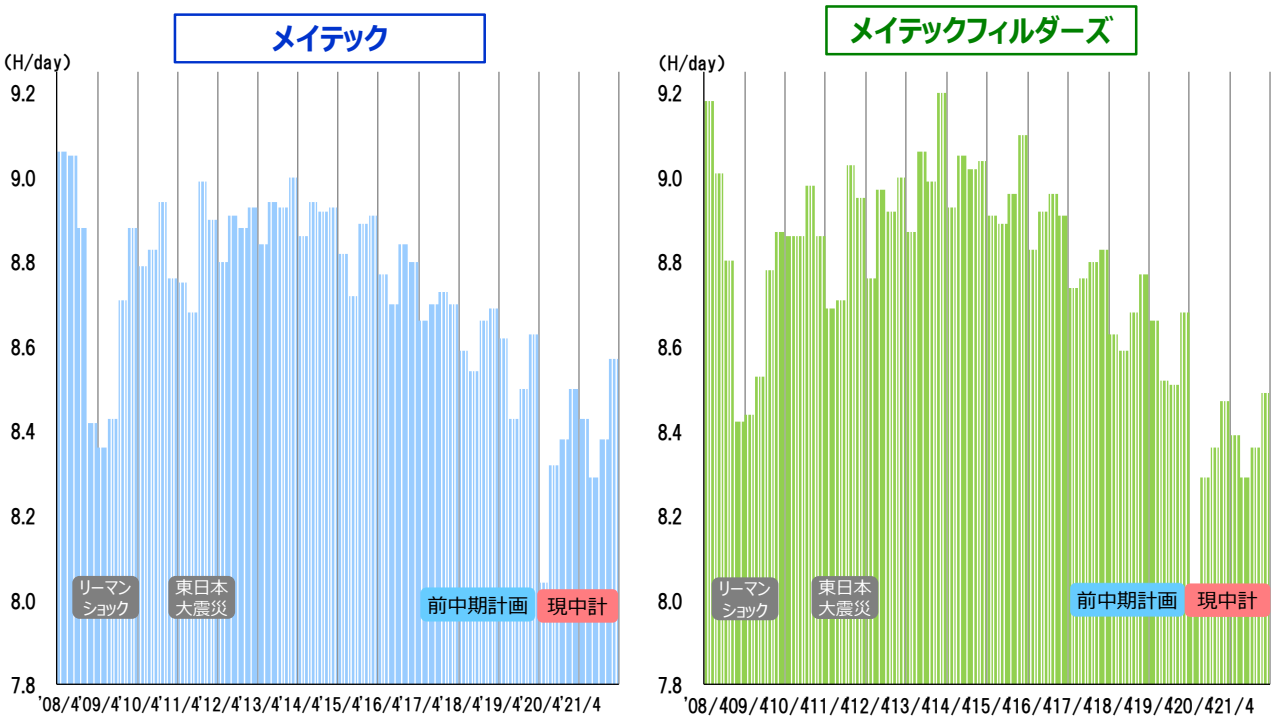
- 対価の推移です。
- 高い品質を維持することにこだわっております。メイテックの対価は業界平均を大きく超えて、約5,400円の水準となりました。
  これを維持するためには、採用基準の保持、並びに市場が求める技術に適合できるキャリア形成が必要不可欠です。
- これからも需要と供給の関係に拠る対価獲得では無く、エンジニアー人ひとりの高いアウトプットに基づいた対価を獲得できる状態、「適正対価の獲得」に努めてまいります。



- エンジニアリングソリューション事業の売上高・原価の構成要素です。

稼働時間

✓ 時間外労働が回復し、稼働時間は増加

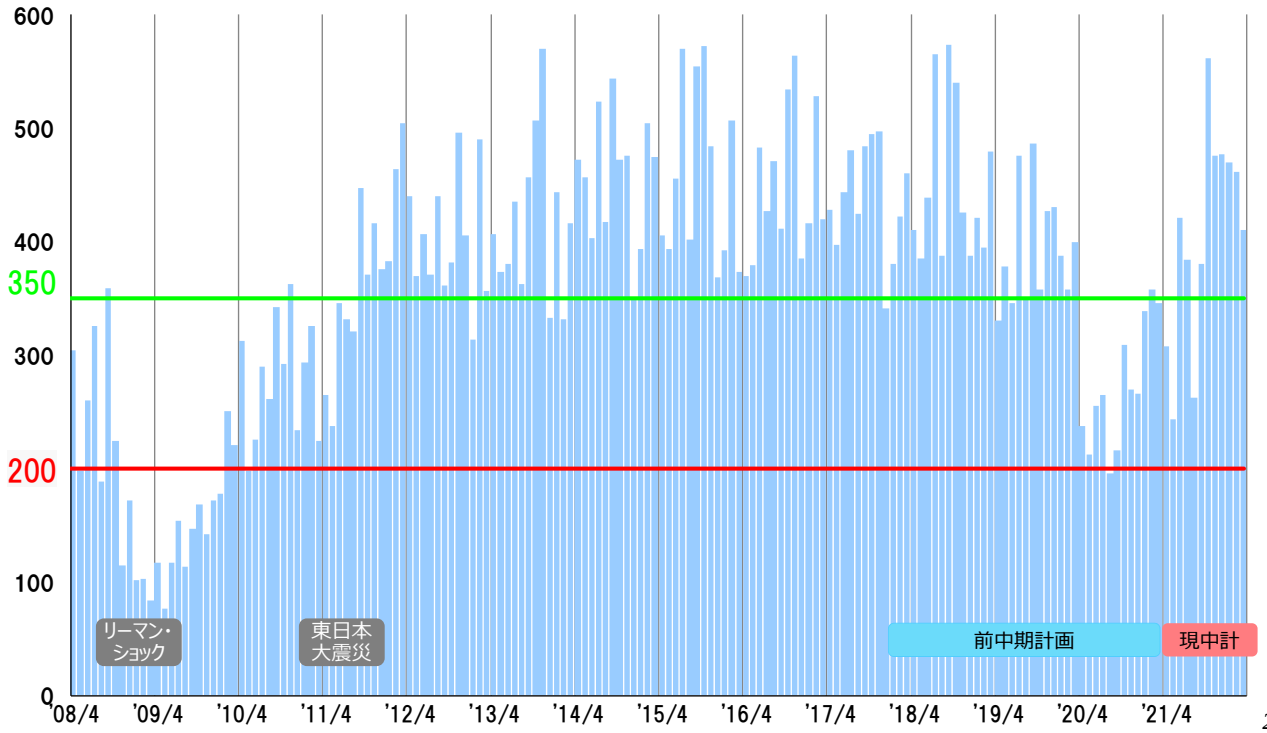


21

- 次に稼働時間の推移です。
- 前期大幅に減少した時間外労働が回復したことに伴い、稼働時間は前期比で大幅に増加しました。
- 稼働時間は、お客さま先の業務指示でございますので、ノンコントロールではありますが、稼働時間0.1時間の変動で売上高は約1%変動することから、業績影響の大きい指標の一つとして、今後も継続して注視していきます。

月間新規受注　メイテック

✓ メイテック単体の月間新規受注は回復傾向



22

- 月間新規受注動向の推移です。
- 新型コロナウイルス感染症拡大の影響により前期は約200件近くの水準まで大きく落ち込んだ受注件数も、お客さまのコロナ収束後の拡大成長を見据えた動向から、徐々に持ち直しが進んでおり、同時に、現在の中計で取り組んでおります、エンジニアソリューションの提案営業の強化を行ってまいりました。その当社の積極的な営業活動により、約350件を超える水準となりました。
- 依然として、新型コロナウイルス感染症の収束見込みが立っておらず、直近ではウクライナ・ロシア紛争を起因とする世界的なエネルギー危機、あるいは食料といったグローバル経済に影響を与えるような事象、北米の政策金利引き上げによる円安、中国コロナ感染による閉鎖、隔離などが、企業経済、業績に与える影響は、まだまだ不透明、予断を許さない状況ですが、現状は当社の事業活動においては、ダイレクトに影響が出るような兆候は出ておりません。
- 今後も経済動向に注視しつつ、攻めの営業活動を行いながら、新規受注獲得、配属促進を実施してまいります。

お客さまの売上TOP10　メイテック

✓ お客さま（個別企業）に関する事項および具体的計数の公表は差し控えます

（百万円）

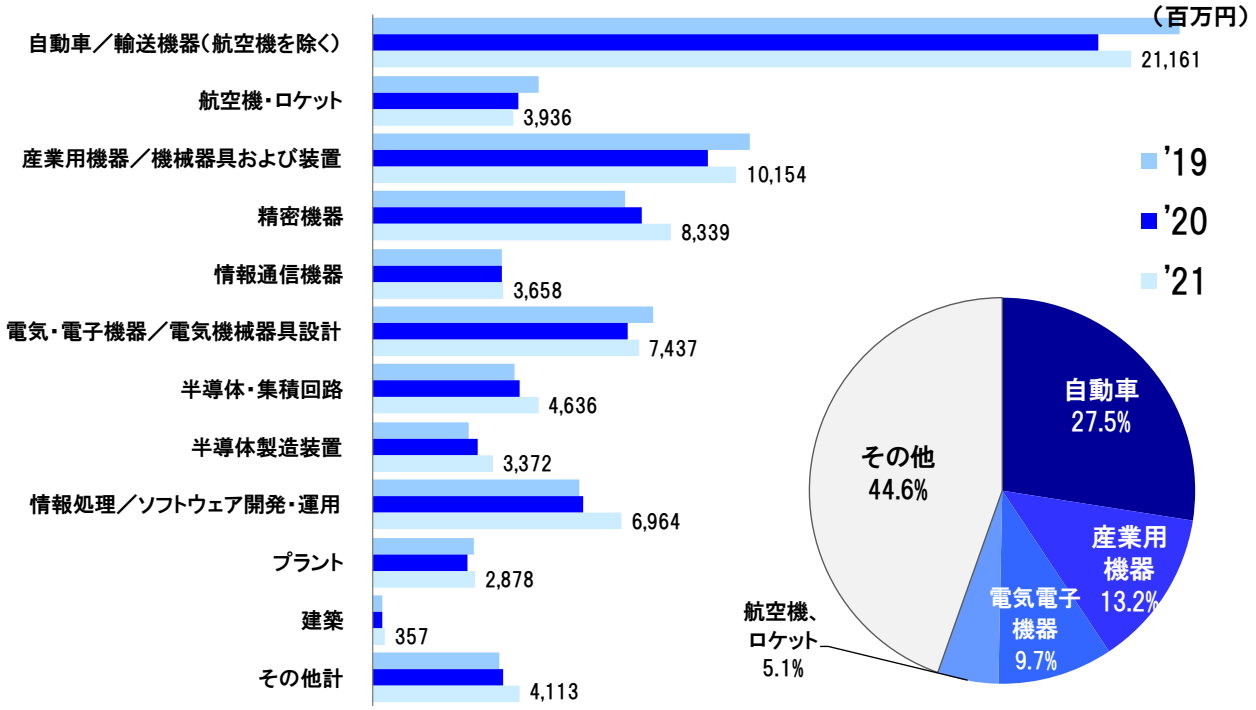
2017年3月期（2016年度）			2021年3月期（2020年度）			2022年3月期（2021年度）		
1 三菱重工業 様			1 三菱重工業 様			1 デンソー 様		
2 デンソー 様			2 デンソー 様			2 ソニーセミコンダクタソリューションズ 様		
3 キヤノン 様			3 ソニーセミコンダクタソリューションズ 様			3 三菱重工業 様		
4 パナソニック 様			4 トヨタ自動車 様			4 パナソニック 様		
5 トヨタ自動車 様			5 パナソニック 様			5 ニコン 様		
6 ニコン 様			6 ニコン 様			6 トヨタ自動車 様		
7 ソニーセミコンダクタソリューションズ 様			7 デンソーテン 様			7 日立ハイテク 様		
8 川崎重工業 様			8 日立ハイテク 様			8 SUBARU 様		
9 三菱航空機 様			9 SUBARU 様			9 デンソーテン 様		
10 オムロン 様			10 日本製鉄 様			10 テルモ 様		
トップ10社合計	17,673	25.2%	トップ10社合計	17,589	24.6%	トップ10社合計	18,937	24.6%
トップ20社合計	24,788	35.4%	トップ20社合計	25,145	35.2%	トップ20社合計	27,186	35.3%
その他	45,295	64.6%	その他	46,308	64.8%	その他	49,824	64.7%
合計	70,083	100.0%	合計	71,452	100.0%	合計	77,010	100.0%

23

- メイテックのお客さまの売上TOP10です。
- TOP10圏内に入るお客さまの顔ぶれに大きな変化はないように見えます。しかしながらも、技術革新のスピードはますます速まっており、業務内容も年々変化しています。お客様の名前は変わっていませんが、業務の内容は常に変わっている、変えてきているとご理解いただければと思います。
- メイテックでは、幅広い分野で開発テーマに即したお客さまのニーズにお応えできる業務に対応できるように契約変更を行っています。
- また、業務内容を常に変えつつ、エンジニアにとって常に新しい技術領域、あるいはキャリア形成ができるような意図的なローテーションを図ることで、お客さまに対して高付加価値なサービスを提供できるように取り組んでおります。
- 特定のお客さまに偏（かたよ）らず、幅広い業務領域のサービスを展開することは、まさしくメイテックの強みですので、これからもその強みを活かして取り組んでまいります。

業種別売上高　メイテック

✓ お客さま（個別企業）別の内訳や見通しの公表は差し控えます（計数はご参考資料に掲載）



24

- 業種別の売上高です。
- 前年度に引き続き、「自動車関連」が高い比率を占めていますが、5年前、10年前とは全く異なる分野であることをご理解ください。
- 従前の内燃機関におけるパワートレインではなく、電動化というキーワードの中で、EV、FCV、ハイブリットといったパワートレイン系、また、それに付随するドライブトレイン、自動運転を起点とするセンシング、制御などを含めた、あらゆる分野への転換を図っている状況です。
  それにお応えしながら自動車関連、無人化・自動化といった生産性を向上させるための産業機器、あるいは電気、電子、ソフトウェア関係といった様々な分野に対し、意図的にエンジニアがキャリア形成と市場価値を高められるよう、他の業界や分野にシフトしながら取り組んでおります。
- そして、これからもお客さまからのニーズに漏れなくお応えし続けられるよう、努めてまいります。
- 以上、2022年3月期の業績とその指標についてお説明致しました。

2. 中期経営計画の進捗

人と技術で次代を拓く
MEITEC
Engineering Firm at The Core

中期経営計画の記述に関する注意事項

1. 中期経営計画を開示する本資料中の定量目標は、業績予想とは異なります。新型コロナウイルス感染症の拡大と長期化懸念が業績に与える影響は、反映していません。
2. 本資料中の定量目標などは、あくまで、経営チームの強い意志に基づく中長期的な戦略を示すものに過ぎません。当社はこれらについて情報を更新する義務を負いません。
3. 正式な業績予想は証券取引所規則に基づく決算短信の開示をご参照下さい。

25

- 続いて、中期経営計画の進捗についてご説明します。
- 2020年4月からスタートした中期計画「The Transformation」は、最終年度である3期目を迎えました。
- コロナ禍から現中期経営計画が始まり、今もその渦中にありますが、持続可能な未来創りに貢献するべく、事業モデルを変革し、今まで培った高い品質を維持しながらグループ一体で高付加価値を追求し、世の中にとって唯一無二の企業グループへの変革を目指して取り組んでいます

基本方針・重点施策

再掲 The Transformation

グループ一体で高付加価値を追求して事業モデルを改革

基本方針	売上拡大	収益増強	利益率向上

重点施策

✓ **最上級Primeのエンジニアリングソリューションを提供**

経営トップ直轄で最上級**Prime**の
- エンジニア集団を創る
- 技術営業チームを築く

✓ **設計開発のデジタル化を大きく増やす**

✓ **地域(エリア・ブロック)へ権限を委譲**

- 量的拡大とデジタル化・成長領域への移動を加速
- 制度や基準を迅速果断に革新

✓ **オペレーションの標準化を進め、効率を向上**

- 業務要件を再定義
- デジタル化の促進

27

- 中期計画の基本方針3つ、重点施策4つを再掲しています。

中期計画2期目の進捗

The Transformation

グループ一体で高付加価値を追求して事業モデルを改革

重点施策	2期目の進捗状況
最上級Primeのエンジニアリングソリューションを提供	• 高い技術力によるソリューション提案営業が進展 • 実績でエンジニア社員の挑戦意欲を醸成
設計開発のデジタル化を大きく増やす	• 市場・技術動向に基づく提案営業を強化 • 業務に要する技術教育を拡充 • 積極採用を継続
地域(エリア・ブロック)へ権限を委譲	• 地域の特色に応じた教育と採用を推進
オペレーションの標準化を進め、効率を向上	• 生産性を高める業務の見極めに注力

28

- 各重点施策における進捗状況は記載の通りです。
- 2期目は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響が断続して継続する中、
一部施策の実施時期や方法の見直し等を行いながらも、
高い技術力を活かしたソリューション提案営業の
推進や積極採用の推進など、重点施策を着実に実施しました。
- 中計最終年度となる3期目も、引き続きPrime、高付加価値の提供サービスを起点とするエンジニアリングソリューション提案営業の確立、並びに、質を担保しつつ、
エンジニア社員の増員を図り、意思決定のスピードを高めていけるよう、取り組んでまいります。

業績予想・中期計画の進捗

The Transformation

参照Page25:中期経営計画の記述に関する注意事項

		2020年度 実績	2021年度 実績	2022年度 業績予想	中期経営計画 目標
グループ連結	売上高	966億円	1,071億円	1,190億円	1,350億円
	営業利益	102億円	128億円	154億円	180億円
	営業利益率	10.6%	12.0%	12.9%	13%
	当期純利益	70億円	92億円	105億円	120億円
	ＲＯＥ	15.8%	20.6%	23.3%	25%以上
メイテック	売上高	715億円	770億円	830億円	900億円
	営業利益	86億円	105億円	123億円	135億円
	営業利益率	12.0%	13.7%	14.8%	15%
メイテックフィルダーズ	売上高	213億円	258億円	310億円	400億円
	営業利益	12億円	17億円	22億円	36億円
	営業利益率	5.5%	6.7%	7.1%	9%

29

- 2期目の実績は御覧の通りです。
  コロナ禍で、一部施策の実施時期や方法の見直し等で、期初予想を下回りました。
- しかしながら、次につながるという観点で、3期目予想は、中期経営計画に対しお客さまとエンジニアの満足度向上を目指し、重点施策を継続して実践してまいります。

3. 2023年3月期　業績予想

人と技術で次代を拓く
MEITEC
Engineering Firm at The Core

- 2023年3月期の業績予想について説明します。

2023年3月期業績予想　グループ連結

MEITEC 人と技術で次代を拓く Engineering Firm at The Core

- ✓ 売上高は前期比+11.1%の1,190億円、営業利益は同比+20.1%の154億円、当期純利益は同比+13.6%の105億円
- ✓ 販売管理費は同比+12.9%⇒エンジニア社員増加による営業職等の増強などを見込む

（百万円未満切捨て）	'23年3月期 公表予想	前期比 増減額	前期比 増減率	2四半期累計 予想	前期比 増減額	前期比 増減率	下半期予想 3Q＋4Q
売上高	119,000	＋11,859	＋11.1%	57,300	＋6,384	＋12.5%	61,700
売上原価	86,200	＋7,282	＋9.2%	42,000	＋3,925	＋10.3%	44,200
販売管理費	17,400	＋1,994	＋12.9%	8,500	＋996	＋13.3%	8,900
営業利益	15,400	＋2,582	＋20.1%	6,800	＋1,463	＋27.4%	8,600
営業利益率	12.9%	＋0.9%		11.9%	＋1.4%		14.0%
経常利益	15,500	＋2,551	＋19.7%	6,800	＋1,394	＋25.8%	8,700
親会社株主に帰属する当期純利益	10,500	＋1,259	＋13.6%	4,500	＋950	＋26.8%	6,000
(※)1株当たり当期純利益(EPS)	131.04	▲210.52		56.16	▲74.28		

※2022年7月1日を効力発生日として、普通株式1株につき3株の割合で株式分割を実施する前提で、当該株式分割が行われたものと仮定して、１株当たり当期純利益(EPS)を算出しています。
なお、当該株式分割を考慮しない場合の1株当たり当期純利益は、2四半期(累計)は168.48円、通期は393.13円となります。

31

- グループ連結の業績予想です。
- 直近の稼働状況、エンジニア社員増員と、稼働率の改善に伴う稼働人員数の増加を見込み、
  売上高は前期比11.1%増収の1,190億円、
  営業利益は前期比20.1%増益の154億円、
- 当期純利益は前期比13.6%増益の105億円としました。
- なお、販管費は前期比＋12.9%の増加を見込んでいます。

2023年3月期業績予想　メイテック

MEITEC 人と技術で次代を拓く Engineering Firm at The Core

- ✓ 売上高は前期比+7.8%、営業利益は同比+16.6%、当期純利益は同比+14.3%の予想
- ✓ 販売管理費は同比+10.4%⇒エンジニア採用目標数の増加や営業職等の増強などを見込む

（百万円未満切捨て）	'23年3月期 公表予想	前期比 増減額	前期比 増減率	2四半期累計 予想	前期比 増減額	前期比 増減率	下半期予想 3Q＋4Q
売上高	83,000	＋5,989	＋7.8%	40,000	＋3,158	＋8.6%	43,000
売上原価	59,700	＋3,196	＋5.7%	29,200	＋1,723	＋6.3%	30,500
原価率	71.9%	▲1.5%		73.0%	▲1.6%		70.9%
販売管理費	11,000	＋1,039	＋10.4%	5,500	＋582	＋11.9%	5,500
営業利益	12,300	＋1,753	＋16.6%	5,300	＋852	＋19.2%	7,000
営業利益率	14.8%	＋1.1%		13.3%	＋1.2%		16.3%
経常利益	13,200	＋2,074	＋18.6%	6,200	＋1,172	＋23.3%	7,000
当期純利益	9,200	＋1,148	＋14.3%	4,300	＋829	＋23.9%	4,900
稼働率（全体）	95.8%	＋1.5%		94.2%	＋3.2%		97.4%
稼働時間〈h/day〉	8.42	—		8.36	—		8.47
採用数〈名〉	754	＋126					
新卒採用数	474	＋12					
中途採用数	280	＋114					
退職率	5.8%	—					

2023年4月入社の新卒採用目標数	22年4月実績比
500	＋26

32

- メイテック単体の業績予想です。
- 売上高は前期比7.8%増収の830億円、
  営業利益は前期比16.6%増益の123億円としました。
- 販管費の増加理由は、エンジニア社員の採用目標数の
  増加等による採用経費の増加や営業職等増強による
  関連費用の増加を見込んでいるためです。
- これらを背景として、
  当期純利益は前期比14.3%増益の92億円としました。
- なお、稼働率は足下の稼働状況に加え、
  新入社員（新卒・キャリア）の早期配属を見込んでいるため、
  前期比1.5%増加の95.8%を見込んでいます。

2023年3月期業績予想　メイテックフィルダーズ

人と技術で次代を拓く MEITEC Engineering Firm at The Core

- ✓ 売上高は前期比+20.1%、営業利益は同比+30%→稼働人員数の大幅な増加を見込む
- ✓ 販売管理費は同比+18%⇒エンジニア採用目標数の増加や営業職等の増強などを見込む

（百万円未満切捨て）	'23年3月期 公表予想	前期比 増減額	前期比 増減率	2四半期累計 予想	前期比 増減額	前期比 増減率	下半期予想 3Q+4Q
売上高	31,000	+5,185	+20.1%	14,600	+2,612	+21.8%	16,400
売上原価	23,950	+3,934	+19.7%	11,450	+2,024	+21.5%	12,500
原価率	77.3%	▲0.2%		78.4%	▲0.2%		76.2%
販売管理費	4,800	+732	+18.0%	2,200	+275		2,600
営業利益	2,250	+518	+30.0%	950	+311	+48.9%	1,300
営業利益率	7.3%	+0.6%		6.5%	+1.2%		7.9%
経常利益	2,250	+517	+29.9%	950	+310	+48.6%	1,300
当期純利益	1,550	+212	+15.9%	650	+211	+48.4%	900
稼働率（全体）	93.3%	+4.3%		90.2%	+6.3%		96.2%
稼働時間〈h/day〉	8.39	—		8.34	—		8.43
採用数〈名〉	1,211	+298					
新卒採用数	411	+109					
中途採用数	800	+189					
退職率	11.6%	▲1.9%					

2023年4月入社の新卒採用目標数	22年4月実績比
450	+39

33

- メイテックフィルダーズの業績予想です。
- 売上高は前期比20.1%増収の310億円、営業利益は前期比29.9%増益の22億50百万円としました。
- 販管費は、採用数増加を見込み、前期比18.0%の増加を見込んでいます。
- なお、稼働率は、エンジニア社員数増加による稼働人員数の増加と、配属ペースの加速を見込んでいるため、前期比4.3%増加の93.3%を見込んでいます。

2023年3月期の採用目標

人と技術で次代を拓く MEITEC Engineering Firm at The Core

中途採用（2023年3月期）

- 即戦力技術者ニーズは、引き続きコロナ禍以前を上回り、採用環境は厳しい状況が継続

✓ **採用チャネルを拡大し、「生涯プロエンジニア」の働き方、キャリアアップに対する考え方を積極的に発信し、採用数確保を目指す**

✓ **採用基準を保持しつつ、中長期の成長、発展を見据えた積極採用を推進**

新卒採用（2023年4月入社）

- 近年の売り手市場継続の中、企業の採用活動が早期化しており、採用競争の激化が進む

✓ **インターンシップ等を通じ、生涯プロエンジニアとしての『職業を軸にした働き方』を学生に訴求**

✓ **学生の安全確保を第一にしつつ、学生志向（成長意欲など）を大切にした採用活動を継続**

※ **設計・開発部門で最先端技術や最新の製品開発に携わるソリューション提供を継続して実現していくため、採用基準は下げない**

（名）	2023年3月期					2024年3月期	
	22年4月入社 新卒採用数（実績）	中途採用数 ＜目標＞	中途採用数 前期比	採用数合計 ＜目標＞	採用数合計 前期比	23年4月入社 新卒採用数 ＜目標＞	23年4月入社 新卒採用数 前期比
メイテック	474	280	＋40	754	＋52	500	＋26
メイテック フィルダーズ	411	800	▲200	1,211	▲91	450	＋39
合計	885	1,080	▲160	1,965	▲39	950	＋65

34

- 続いて、採用目標です。
- 当年度の中途採用目標は、
  メイテックは280名、メイテックフィルダーズは800名としています。
- 即戦力技術者のニーズは高く、厳しい環境でございますが、
  メイテックフィルダーズはミドル領域No.1を目指し、積極採用を継続してまいります。
- 新卒採用目標は、グループ全体で、今年4月の入社者数を65名上回る、950名としました。
  新聞記事によると、大卒採用目標数ランキングでは、
  日本企業全体では16番、理工系学生だけでは2番目の規模であり、大きな水準と認識しています。
- 高い目標ではありますが、多くの方々をメイテックグループの一員として、お迎えできるように、そして、理工系の学生の方々を中心として、エンジニアとして今後生涯にわたって活躍できる環境と、お客様の技術開発に貢献できるような事業活動を促進するためにも、採用を強化していきたいと思います。

利益配分に関する基本方針

MEITEC 人と技術で次代を拓く Engineering Firm at The Core

✓ 新中期計画の利益配分は、資本と資金の質と量の充実度を踏まえ、既定方針に従う

2018年11月改定
~~2017年5月改定~~
~~2011年5月改定~~
利益配分方針

1. 自己資本の"質と量"が充実していること
2. 資金残高が事業運営上の必要資金*を上回っていること
(*連結売上高の月商3ヶ月分)

総還元性向： 100%以内を原則

配当

業績連動型配当：連結当期純利益の50%以上

最低限の配当：連結株主資本配当率(DOE)5%

自己株式の取得・保有・消却

取得：総還元性向と配当性向の水準を勘案して適宜実施

保有：発行済総数の5%を上限

消却：上限超を当期末までに消却

✓ 自己株式は、経営計画の目標達成等に向けて、今後の成長戦略の実行と成長に伴うリスクに対処していく機動的な財務政策を可能とするために保有

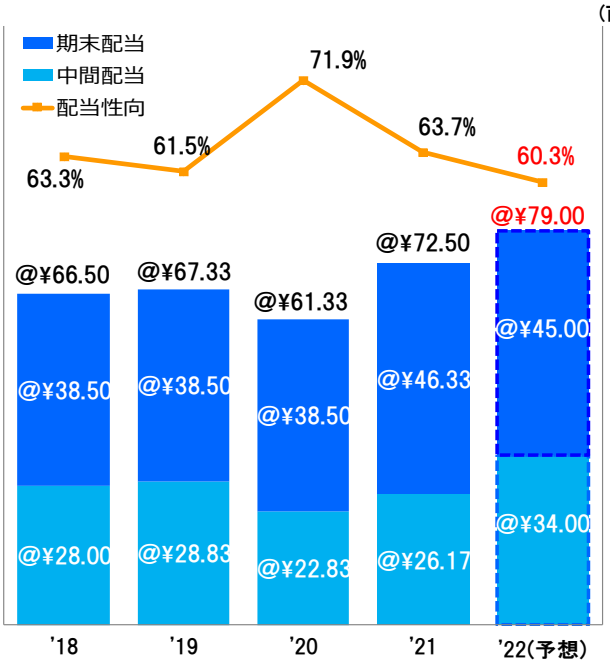
35

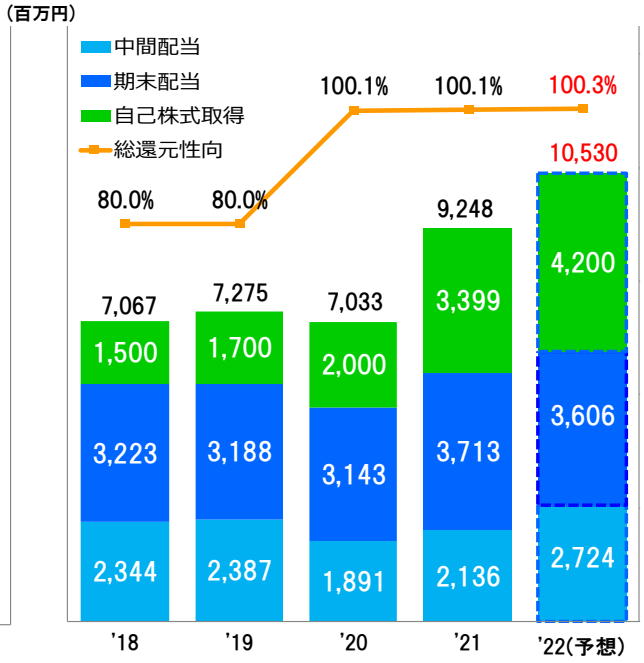
- 続いて利益配分についてです。
- 現時点で、自己資本の"質と量"は概ね充実しているため、基本方針に則して総還元性向は、100%以内と考えています。

利益配分の実績と予想

MEITEC 人と技術で次代を拓く Engineering Firm at The Core

✓ 2021年度の期末配当は139円、中間配当78円50銭と合わせて年間配当金は217円50銭
✓ 2022年7月1日を効力発生日として普通株式１株につき３株の割合で株式分割を実施
⇒1株当たり79円の年間配当、総還元性向は100.3%、配当性向は60.3%を予想
※1株当たりの配当金は、株式分割の影響を加味して遡及修正





36

- 最後に、利益配分の実績と予想です。
- 2022年3月期の期末配当は、当期純利益が業績予想を上回ったため、昨年10月に公表した配当予想の一株当たり107円から32円引き上げて、139円で、株主総会へ上程します。
- 中間配当金78円50銭と合わせて年間配当金は217円50銭となり、33円50銭の増配となります。
- なお今年度は、本日リリース致しましたが、2022年7月1日を効力発生日として、普通株式1株につき3株の割合で株式分割を実施致します。
これに伴い、資料に記載の1株当たりの配当金は、株式分割の影響を加味した数値に遡及換算修正させていただいております。
- したがって、2022年度は、年間配当79円、利益配分は基本方針に即して総還元性向100.3%、配当性向60.3%の予想としております。

- 私からの説明は以上です。今後ともご理解、ご支援の程、宜しくお願い致します。ご清聴、ありがとうございました。

4. ご参考資料

一社でも多くのお客さまに、
一人でも多くのエンジニアに、
メイテックグループを活用いただき、
感動や喜びを実感できる
「機会と場」の拡大を目指します。
代表取締役社長
メイテックグループCEO
國分 秀世
人と技術で次代を拓く
MEITEC
Engineering Firm at The Core

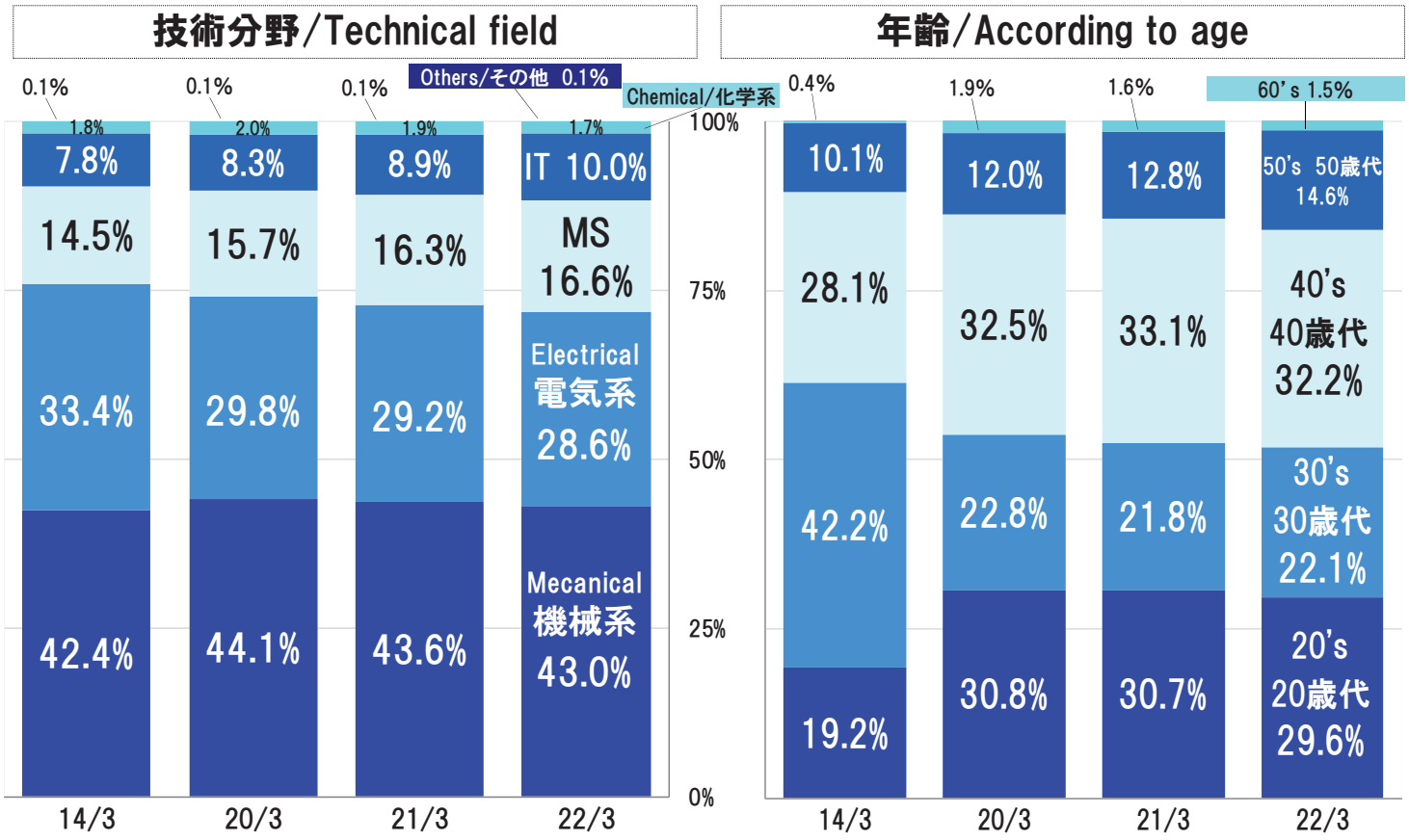
2022年3月期業績　各社別

（百万円未満切捨て）		エンジニアリングソリューション事業				エンジニア紹介事業
		メイテック	メイテック フィルダーズ	メイテック キャスト	メイテック EX	メイテック ネクスト
売上高		77,010	25,814	2,998	319	1,530
	前期比 増減額	＋5,557	＋4,505	＋98	＋137	＋313
	前期比 増減率	＋7.8%	＋21.1%	＋3.4%	＋75.2%	＋25.8%
営業利益		10,546	1,731	189	△4	474
	前期比 増減額	＋1,946	＋552	▲32	▲4	＋200
	前期比 増減率	＋22.6%	＋46.9%	▲14.8%	―	＋73.1%
経常利益		11,125	1,732	189	△ 4	474
当期純利益		8,051	1,337	121	△4	305

2023年3月期業績予想　各社別

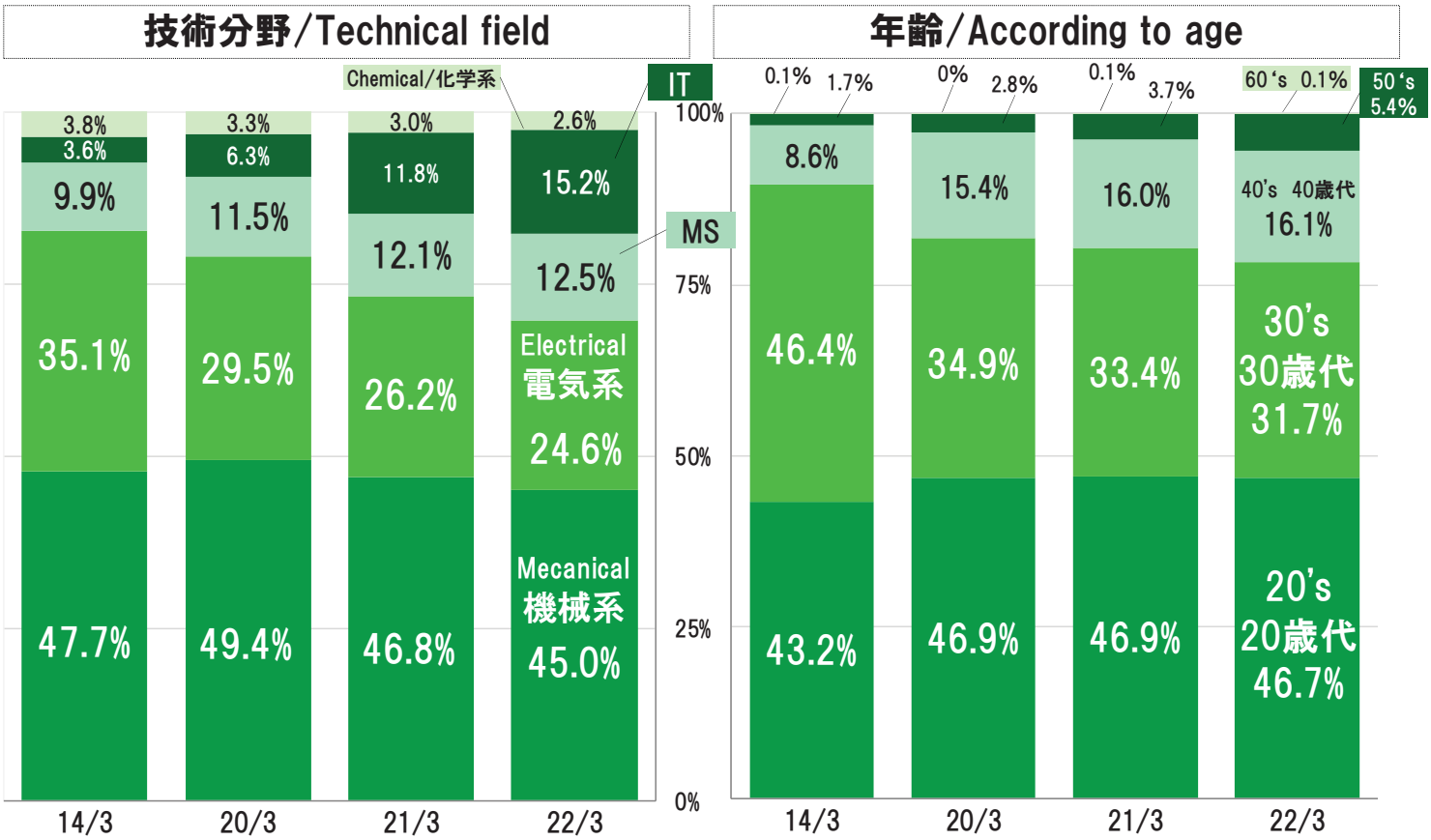
（百万円）		エンジニアリングソリューション事業				エンジニア紹介事業
		メイテック	メイテック フィルダーズ	メイテック キャスト	メイテック EX	メイテック ネクスト
売上高		83,000	31,000	3,370	380	1,980
	前期比 増減額	＋5,989	＋5,185	＋371	＋60	＋449
	前期比 増減率	＋7.8%	＋20.1%	＋12.4%	＋18.9%	＋29.4%
営業利益		12,300	2,250	260	0	630
	前期比 増減額	＋1,753	＋518	＋70	＋4	＋155
	前期比 増減率	＋16.6%	＋30.0%	＋37.0%	―	＋32.8%
経常利益		13,200	2,250	260	0	630
当期純利益		9,200	1,550	170	0	410

エンジニアの構成　メイテック



MS: Micro Computer System

エンジニアの構成　メイテックフィルダーズ



MS: Micro Computer System

業種別売上高推移　メイテック

（百万円）

メイテック	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期			
	売上高				売上高	売上構成比	対前年増減額	対前年増減率
自動車、輸送機器関連（航空機を除く）	21,183	22,214	22,513	20,239	21,161	27.5%	+922	+4.6%
航空機・ロケット関連	5,026	4,646	4,636	4,084	3,936	5.1%	△ 148	△3.6%
産業用機器、機械器具および装置関連	10,123	10,425	10,544	9,373	10,154	13.2%	+780	+8.3%
精密機器関連	5,809	6,389	7,069	7,516	8,339	10.8%	+822	+10.9%
情報通信機器関連	4,005	3,831	3,615	3,604	3,658	4.8%	+54	+1.5%
電気・電子機器、電気機械器具設計	8,405	8,172	7,831	7,119	7,437	9.7%	+317	+4.5%
半導体・集積回路関連	4,088	4,159	3,962	4,107	4,636	6.0%	+528	+12.9%
半導体製造装置関連	2,345	2,649	2,698	2,942	3,372	4.4%	+430	+14.6%
情報処理、ソフトウェア開発・運用	5,233	5,347	5,778	5,871	6,964	9.0%	+1,092	+18.6%
プラント関連	2,547	2,608	2,823	2,664	2,878	3.7%	+214	+8.0%
建築関連	389	357	295	290	357	0.5%	+67	+23.3%
その他	3,095	3,234	3,526	3,638	4,113	5.3%	+474	+13.1%
合計	72,252	74,036	75,297	71,452	77,010	100.0%	+5,557	+7.8%

業種別売上高推移　メイテックフィルダーズ

（百万円）

メイテックフィルダーズ	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期			
	売上高				売上高	売上構成比	対前年増減額	対前年増減率
自動車、輸送機器関連（航空機を除く）	5,843	6,406	6,761	6,117	6,996	27.1%	+879	+14.4%
航空機・ロケット関連	388	359	401	397	420	1.6%	+23	+5.9%
産業用機器、機械器具および装置関連	2,621	3,280	3,984	4,012	4,699	18.2%	+686	+17.1%
精密機器関連	2,149	2,395	2,709	2,838	3,375	13.1%	+536	+18.9%
情報通信機器関連	651	693	782	644	629	2.4%	△ 15	△2.4%
電気・電子機器、電気機械器具設計	1,984	2,169	2,231	2,191	2,549	9.9%	+358	+16.3%
半導体・集積回路関連	610	690	702	731	882	3.4%	+150	+20.6%
半導体製造装置関連	950	1,311	1,351	1,163	1,476	5.7%	+313	+26.9%
情報処理、ソフトウェア開発・運用	466	513	766	1,142	1,881	7.3%	+739	+64.7%
プラント関連	588	601	710	922	1,079	4.2%	+156	+17.0%
建築関連	83	103	11	9	27	0.1%	+18	+186.7%
その他	642	809	969	1,136	1,795	7.0%	+659	+58.0%
合計	16,981	19,336	21,383	21,308	25,814	100.0%	+4,505	+21.1%

業績推移　グループ連結

（百万円）	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021
売上高	82,229	82,102	79,898	53,776	61,790	66,955	70,330	74,906	82,136	87,888	89,979	93,618	97,736	100,995	96,626	107,140
売上原価	57,701	57,777	57,177	46,765	48,832	49,875	51,639	55,370	60,481	64,661	66,417	69,250	71,701	73,823	72,203	78,917
原価率	70.2%	70.4%	71.6%	87.0%	79.0%	74.5%	73.4%	73.9%	73.6%	73.6%	73.8%	74.0%	73.4%	73.1%	74.7%	73.7%
売上総利益	24,528	24,324	22,720	7,010	12,957	17,079	18,691	19,536	21,654	23,227	23,561	24,368	26,035	27,171	24,422	28,223
販売費及び一般管理費	12,946	12,959	13,439	11,939	10,337	11,629	12,337	12,556	12,114	12,352	12,418	12,910	13,399	14,245	14,188	15,405
販管費率	15.7%	15.8%	16.8%	22.2%	16.7%	17.4%	17.5%	16.8%	14.7%	14.1%	13.8%	13.8%	13.7%	14.1%	14.7%	14.4%
営業利益	11,581	11,365	9,280	▲4,928	2,620	5,450	6,354	6,979	9,540	10,874	11,142	11,458	12,635	12,926	10,234	12,817
営業利益率	14.1%	13.8%	11.6%	▲9.2%	4.2%	8.1%	9.0%	9.3%	11.6%	12.4%	12.4%	12.2%	12.9%	12.8%	10.6%	12.0%
営業外収益	74	84	87	4,729	2,146	114	97	50	113	29	20	19	15	55	81	144
営業外費用	169	115	107	77	178	32	24	51	10	58	17	11	7	6	9	13
経常利益	11,487	11,334	9,260	▲276	4,588	5,531	6,427	6,978	9,643	10,845	11,145	11,465	12,643	12,975	10,306	12,948
経常利益率	14.0%	13.8%	11.6%	▲0.5%	7.4%	8.3%	9.1%	9.3%	11.7%	12.3%	12.4%	12.2%	12.9%	12.8%	10.7%	12.1%
特別利益	5	6	13	32	378	—	58	—	20	1,084	31	337	26	—	—	—
特別損失	5,092	1,826	1,094	130	234	4	215	146	3,621	65	45	262	18	3	4	5
税金等調整前当期純利益	6,400	9,514	8,178	▲374	4,732	5,526	6,270	6,832	6,041	11,865	11,131	11,541	12,651	12,971	10,301	12,942
税金費用等	6,105	4,556	3,875	530	1,041	2,699	277	2,858	2,381	3,781	3,193	3,409	3,822	3,878	3,272	3,701
親会社株主に帰属する当期純利益	295	4,958	4,303	▲904	3,690	2,827	5,993	3,973	3,659	8,083	7,937	8,132	8,829	9,093	7,028	9,240
純利益率	0.4%	6.0%	5.4%	▲1.7%	6.0%	4.2%	8.5%	5.3%	4.5%	9.2%	8.8%	8.7%	9.0%	9.0%	7.3%	8.6%

業績推移　メイテック

（百万円）	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021
売上高	61,795	62,956	60,457	41,319	48,260	53,188	55,822	58,876	64,675	68,878	70,083	72,252	74,036	75,297	71,452	77,010
売上原価	43,134	43,875	43,109	36,074	38,777	39,987	41,240	43,742	47,857	50,884	52,013	53,861	54,620	55,138	53,438	56,503
原価率	69.8%	69.7%	71.3%	87.3%	80.4%	75.2%	73.9%	74.3%	74.0%	73.9%	74.2%	74.5%	73.8%	73.2%	74.8%	73.4%
売上総利益	18,660	19,081	17,348	5,245	9,482	13,200	14,582	15,134	16,817	17,994	18,069	18,391	19,416	20,159	18,014	20,507
販売費及び一般管理費	8,039	8,620	8,540	8,210	7,758	8,587	9,179	9,382	8,891	8,932	8,856	9,048	9,258	9,776	9,414	9,960
販管費率	13.0%	13.7%	14.1%	19.9%	16.1%	16.1%	16.4%	15.9%	13.7%	13.0%	12.6%	12.5%	12.5%	13.0%	13.2%	12.9%
営業利益	10,621	10,460	8,807	▲2,964	1,724	4,613	5,402	5,751	7,925	9,061	9,213	9,342	10,157	10,382	8,600	10,546
営業利益率	17.2%	16.6%	14.6%	▲7.2%	3.6%	8.7%	9.7%	9.8%	12.3%	13.2%	13.1%	12.9%	13.7%	13.8%	12.0%	13.7%
営業外収益	4,988	356	564	3,840	1,976	389	314	426	523	517	601	769	769	913	956	592
営業外費用	109	48	76	53	150	14	19	426	10	52	16	6	6	5	8	13
経常利益	15,500	10,768	9,294	822	3,550	4,988	5,698	6,149	8,438	9,526	9,798	10,105	10,921	11,290	9,547	11,125
経常利益率	25.1%	17.1%	15.4%	2.0%	7.4%	9.4%	10.2%	10.4%	13.0%	13.8%	14.0%	14.0%	14.8%	15.0%	13.4%	14.4%
特別利益	5	3	7	2	3	—	462	—	324	1,088	200	364	16	—	—	—
特別損失	10,202	2,084	2,912	626	318	66	228	372	3,673	50	222	261	52	2	4	5
税引前当期純利益	5,304	8,687	6,389	197	3,236	4,921	5,932	5,776	5,089	10,563	9,776	10,208	10,885	11,287	9,542	11,120
税金費用等	5,388	3,749	3,391	144	1,094	2,331	▲124	2,352	1,749	3,171	2,702	2,747	3,117	3,174	2,719	3,068
当期純利益	▲83	4,938	2,998	53	2,141	2,590	6,056	3,425	3,340	7,391	7,073	7,461	7,768	8,112	6,823	8,051
純利益率	▲0.1%	7.8%	5.0%	0.1%	4.4%	4.9%	10.8%	5.8%	5.2%	10.7%	10.1%	10.3%	10.5%	10.8%	9.5%	10.5%

業績推移　メイテックフィルダーズ

（百万円）	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021
売上高	10,748	10,747	10,582	7,050	8,175	8,510	9,349	10,587	11,911	13,327	14,865	16,981	19,336	21,383	21,308	25,814
売上原価	7,888	7,759	7,744	6,621	6,361	6,387	7,061	8,084	9,154	10,288	11,540	13,173	14,941	16,476	16,542	20,015
原価率	73.4%	72.2%	73.2%	93.9%	77.8%	75.1%	75.5%	76.4%	76.9%	77.2%	77.6%	77.6%	77.3%	77.1%	77.6%	77.5%
売上総利益	2,859	2,987	2,837	429	1,814	2,122	2,287	2,502	2,757	3,039	3,325	3,808	4,394	4,906	4,765	5,798
販売費及び一般管理費	1,551	1,677	2,018	1,890	1,238	1,585	1,639	1,646	1,682	1,834	1,978	2,351	2,660	2,962	3,586	4,067
販管費率	14.4%	15.6%	19.1%	26.8%	15.1%	18.6%	17.5%	15.5%	14.1%	13.8%	13.3%	13.8%	13.8%	13.9%	16.8%	15.8%
営業利益	1,308	1,310	819	▲1,461	575	537	648	856	1,073	1,204	1,346	1,456	1,734	1,944	1,178	1,731
営業利益率	12.2%	12.2%	7.7%	▲20.7%	7.0%	6.3%	6.9%	8.1%	9.0%	9.0%	9.1%	8.6%	9.0%	9.1%	5.5%	6.7%
営業外収益	3	10	6	848	182	3	3	1	—	—	1	—	1	1	—	1
営業外費用	1	1	—	5	1	—	—	15	—	—	1	4	—	—	2	—
経常利益	1,310	1,319	825	▲618	757	540	651	841	1,074	1,205	1,346	1,452	1,735	1,945	1,177	1,732
経常利益率	12.2%	12.3%	7.8%	▲8.8%	9.3%	6.3%	7.0%	7.9%	9.0%	9.0%	9.1%	8.6%	9.0%	9.1%	5.5%	6.7%
特別利益	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—
特別損失	4	5	13	2	1	—	—	—	5	7	—	—	—	—	—	—
税引前当期純利益	1,306	1,314	811	▲620	756	540	651	841	1,068	1,198	1,346	1,453	1,735	1,945	1,177	1,732
税金費用等	537	544	344	313	▲187	264	272	358	420	412	301	422	444	484	370	395
当期純利益	768	769	467	▲933	943	275	378	483	648	786	1,045	1,031	1,291	1,461	805	1,337
純利益率	7.1%	7.2%	4.4%	▲13.2%	11.5%	3.2%	4.0%	4.6%	5.4%	5.9%	7.0%	6.1%	6.7%	6.8%	3.8%	5.2%

業績推移　メイテックネクスト

（百万円）	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021
売上高	8	252	480	334	438	593	734	872	1,131	1,321	1,483	1,662	1,762	1,639	1,216	1,530
売上原価																
原価率																
売上総利益	8	252	480	334	438	593	734	872	1,131	1,321	1,483	1,662	1,762	1,639	1,216	1,530
販売費及び一般管理費	207	470	559	349	333	446	512	577	746	887	966	1,116	1,203	1,204	942	1,055
販管費率	2,587.5%	186.5%	116.5%	104.5%	76.0%	75.2%	69.8%	66.2%	66.0%	67.1%	65.1%	67.2%	68.2%	73.5%	77.5%	69.0%
営業利益	▲198	▲217	▲78	▲14	104	147	221	295	385	433	517	545	559	434	273	474
営業利益率	▲2,475.0%	▲86.1%	▲16.3%	▲4.2%	23.7%	24.8%	30.1%	33.8%	34.0%	32.8%	34.9%	32.8%	31.8%	26.5%	22.5%	31.0%
営業外収益	—	—	—	2	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
営業外費用	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—
経常利益	▲198	▲217	▲78	▲12	106	147	221	295	385	433	517	545	559	432	274	474
経常利益率	▲2,475.0%	▲86.1%	▲16.3%	▲3.6%	24.2%	24.8%	30.1%	33.8%	34.0%	32.8%	34.9%	32.8%	31.7%	26.4%	22.5%	31.0%
特別利益	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
特別損失	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
税引前当期純利益	▲198	▲217	▲78	▲13	106	147	221	295	385	433	517	544	559	432	274	474
税金費用等	—	—	1	—	—	—	19	95	141	145	182	193	198	152	96	169
当期純利益	▲199	▲217	▲79	▲14	105	147	201	200	243	288	334	350	361	279	177	305
純利益率	▲2,487.5%	▲86.1%	▲16.5%	▲4.2%	24.0%	24.8%	27.4%	22.9%	21.5%	21.8%	22.6%	21.1%	20.5%	17.1%	14.6%	20.0%

バランスシート推移　グループ連結

(百万円)	2007/3/31	2008/3/31	2009/3/31	2010/3/31	2011/3/31	2012/3/31	2013/3/31	2014/3/31	2015/3/31	2016/3/31	2017/3/31	2018/3/31	2019/3/31	2020/3/31	2021/3/31	2022/3/31
現金・預金	16,177	18,512	18,526	14,732	23,999	26,686	26,592	30,104	34,773	35,413	37,259	41,753	45,052	47,033	45,132	49,706
受取手形・売掛金	13,256	12,841	10,985	9,582	10,245	10,675	10,887	11,297	12,858	13,823	13,400	13,816	13,884	14,696	14,600	16,098
流動資産合計	35,564	35,356	33,295	28,444	37,661	40,643	41,802	44,998	51,639	53,104	54,742	59,325	60,036	62,679	60,885	66,937
有形固定資産	14,548	13,374	12,818	12,069	11,688	11,257	10,908	10,555	7,207	5,721	5,552	5,399	5,402	5,332	5,122	5,002
固定資産合計	21,914	22,428	20,934	19,180	18,053	16,915	16,199	16,447	13,458	11,363	11,634	11,608	14,579	14,814	14,153	14,652
資産合計	57,479	57,784	54,230	47,625	55,714	57,559	58,002	61,445	65,098	64,468	66,377	70,934	74,615	77,493	75,038	81,590
流動負債合計	12,559	13,764	11,026	6,392	10,016	11,165	9,683	12,589	15,797	13,650	14,662	16,176	16,927	17,228	14,272	19,669
固定負債合計	6,236	6,422	7,034	7,789	8,603	9,183	9,895	12,667	11,735	13,212	13,860	14,617	15,317	15,937	16,294	16,633
負債合計	18,795	20,186	18,061	14,181	18,619	20,349	19,579	25,257	27,532	26,862	28,523	30,794	32,244	33,166	30,566	36,302
株主資本	39,144	38,048	36,747	34,101	37,745	38,017	39,264	38,299	39,619	39,973	39,970	42,078	44,173	45,950	45,898	46,457
その他	▲461	▲449	▲577	▲658	▲651	▲808	▲841	▲2,111	▲2,054	▲2,367	▲2,116	▲1,939	▲1,802	▲1,623	▲1,426	▲1,169
純資産合計	38,683	37,598	36,169	33,443	37,094	37,209	38,422	36,188	37,565	37,605	37,854	40,139	42,371	44,327	44,472	45,287

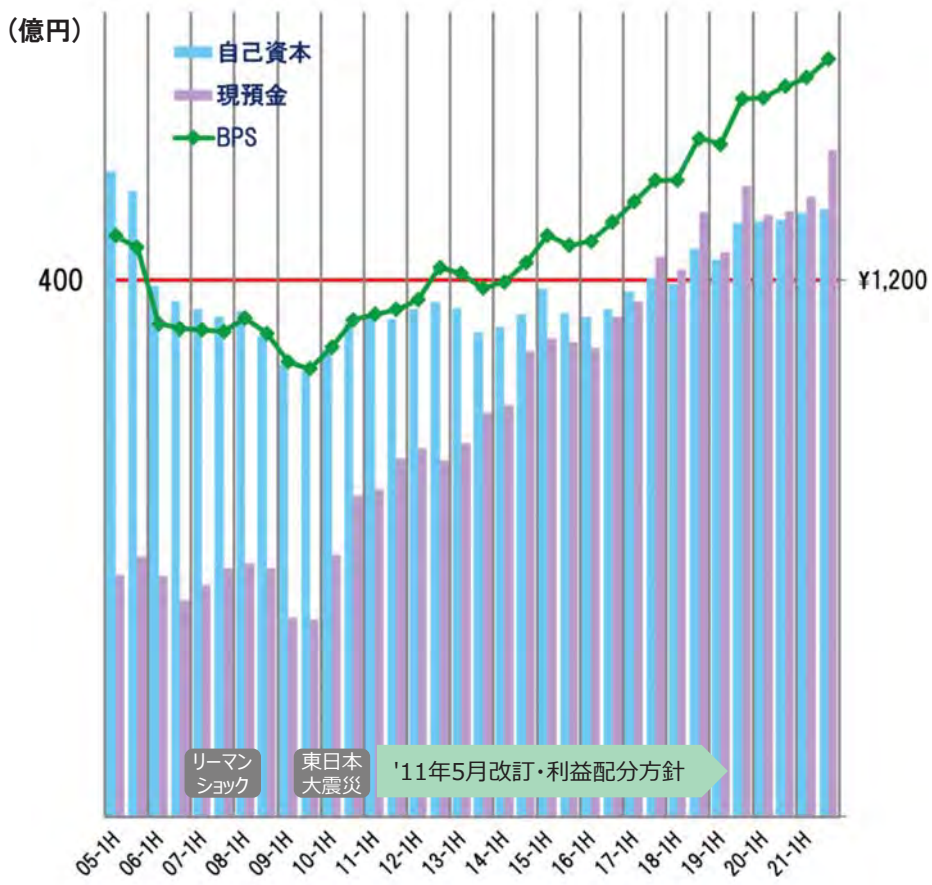
営業活動CF	6,010	8,486	6,308	▲1,545	9,291	5,753	5,205	8,893	8,434	6,910	10,186	10,957	10,273	9,837	5,487	13,532
投資活動CF	▲955	124	623	▲19	287	▲292	▲465	▲398	▲275	1,487	▲325	▲464	▲240	▲536	▲307	▲270
財務活動CF	▲8,366	▲5,997	▲5,580	▲1,835	▲104	▲2,769	▲4,837	▲4,991	▲3,495	▲7,752	▲8,011	▲5,999	▲6,734	▲7,319	▲7,080	▲8,688
現預金の増減額	▲3,303	+2,634	+1,313	▲3,394	+9,467	+2,691	▲93	+3,511	+4,668	+643	+1,845	+4,493	+3,298	+1,980	▲1,900	+4,574

利益配分実績と予想

(百万円未満・四捨五入)		2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	実績 2021年度	予想 2022年度
総還元性向(連結)		92.9%	99.0%	101.2%	116.8%	100.0%	100.1%	80.0%	80.0%	80.0%	100.1%	100.1%	100.3%
配当性向(連結)		68.5%	53.2%	56.1%	92.4%	53.5%	55.2%	61.8%	63.3%	61.5%	71.9%	63.7%	60.3%
純資産配当率(連結)		5.2%	8.4%	6.0%	9.2%	11.4%	11.6%	12.9%	13.6%	12.9%	11.4%	13.1%	
※年間配当	1株当たり	@¥19.50	@¥33.00	@¥24.00	@¥37.00	@¥48.00	@¥50.50	@¥59.00	@¥66.50	@¥67.33	@¥61.33	@¥72.50	@¥79.00
	金額(百万円)	1,925	3,134	2,220	3,373	4,286	4,344	5,008	5,567	5,575	5,033	5,848	6,330
※中間配当	1株当たり	@¥9.67	@¥10.00	@¥10.50	@¥14.67	@¥21.00	@¥22.67	@¥24.83	@¥28.00	@¥28.83	@¥22.83	@¥26.17	@¥34.00
	金額(百万円)	961	981	983	1,344	1,908	1,968	2,119	2,344	2,387	1,891	2,136	2,724
※期末配当	1株当たり	@¥9.83	@¥23.00	@¥13.50	@¥22.33	@¥27.00	@¥27.83	@¥34.17	@¥38.50	@¥38.50	@¥38.50	@¥46.33	@¥45.00
	金額(百万円)	965	2,153	1,237	2,029	2,378	2,375	2,889	3,223	3,188	3,143	3,713	3,606
自己株式取得	株数(千株)	421	1,506	641	269	921	915	257	280	303	390	500	
	金額(百万円)	700	2,800	1,800	899	3,799	3,600	1,500	1,500	1,700	2,000	3,399	4,200
総利益配分額 (百万円)		2,625	5,934	4,020	4,273	8,086	7,944	6,508	7,067	7,275	7,033	9,248	10,530
株式消却	株数(千株)	400	1,700	500	300	900	1,300		700	300	400	500	
株価	期初4月1日	¥1,621	¥1,681	¥2,193	¥2,857	¥3,965	¥3,865	¥4,505	¥5,960	¥5,130	¥4,065	¥6,040	¥6,660
	期末3月31日	¥1,669	¥2,343	¥2,930	¥4,025	¥3,935	¥4,520	¥5,890	¥5,030	¥4,300	¥6,110	¥6,650	
※1株当たり当期純利益		@¥28.48	@¥62.03	@¥42.77	@¥40.04	@¥89.75	@¥91.44	@¥95.55	@¥105.14	@¥109.45	@¥85.26	@¥113.85	@¥131.04
※1株当たり純資産		@¥378.37	@¥409.87	@¥394.28	@¥412.93	@¥426.20	@¥443.52	@¥474.67	@¥506.14	@¥535.34	@¥544.81	@¥565.21	

※1株当たり指標は、2022年7月1日効力発生の株式分割後（1株につき3株）の株式数を基準に算定

自己資本・現預金　グループ連結

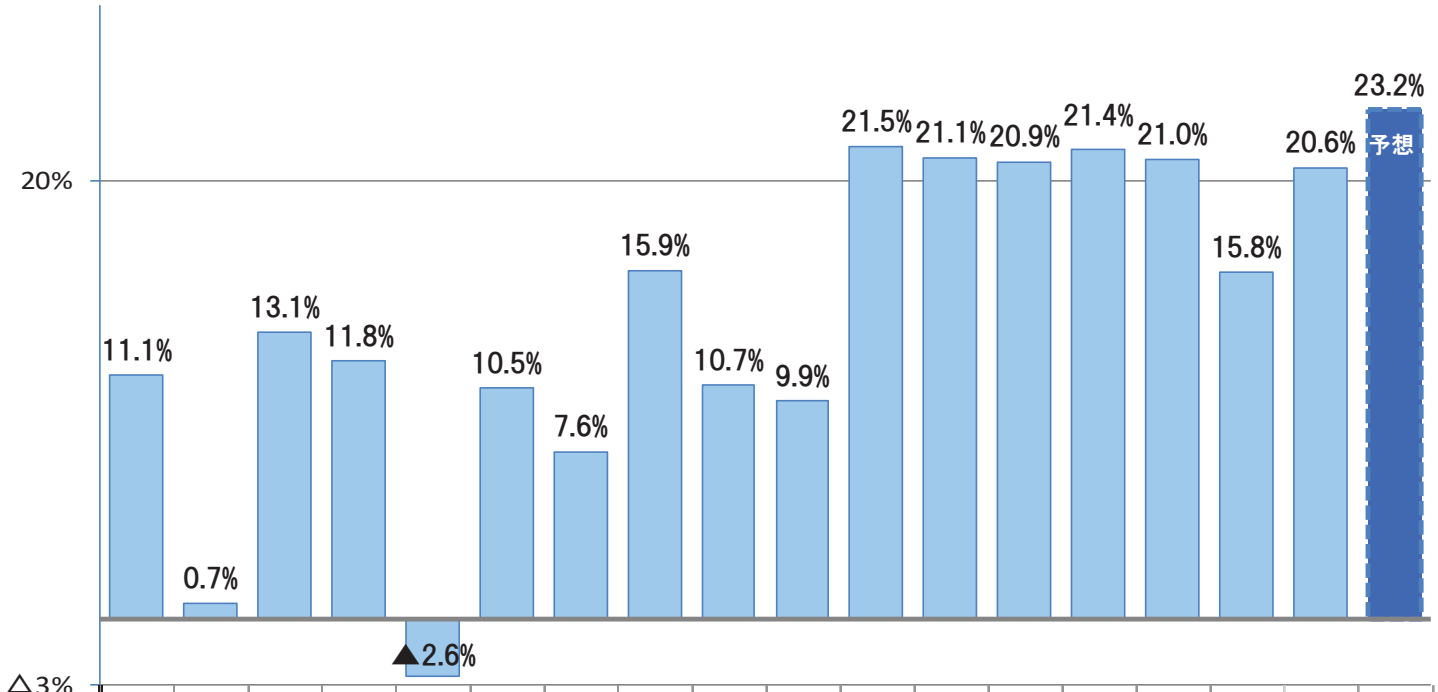


- 無期雇用エンジニア派遣事業では、経済危機下でも、エンジニアの雇用を守り抜く事が持続的成長に不可欠

→エンジニアは、安定雇用を前提として、自身のキャリアを磨く事に専念し続ける

- そのためには、資金残高にも配慮しつつ、財務の安全性につながる「自己資本の“質と量”の充実」を優先する

連結自己資本当期純利益率：ROE



	'05	'06	'07	'08	'09	'10	'11	'12	'13	'14	'15	'16	'17	'18	'19	'20	'21	'22
ROE	11.1%	0.7%	13.1%	11.8%	△2.6%	10.5%	7.6%	15.9%	10.7%	9.9%	21.5%	21.1%	20.9%	21.4%	21.0%	15.8%	20.6%	23.2%
当期純利益	5,302	295	4,958	4,303	△ 904	3,690	2,827	5,993	3,973	3,659	8,084	7,937	8,132	8,829	9,093	7,028	9,240	10,500
自己資本	46,668	38,451	37,303	35,864	33,235	36,857	37,121	38,360	36,142	37,516	37,544	37,851	40,136	42,371	44,327	44,472	45,288	45,175

グループの目指すべき姿～5つの価値

私たちメイテックグループは、全社員がつながりあい、
エンジニア価値を起点として、５つの価値を持続的に向上させます

〔経営理念〕
共生と繁栄

〔コーポレートスローガン〕
人と技術で次代を拓く

社会価値
生涯プロエンジニアという働き方の
確立を通じて、日本に
「プロフェッショナルな労働市場」を
創り出す先駆者であり続けます

顧客価値
すべてのお客さまから信頼される
ベストパートナーを目指し、
最適な「人と技術」のサービスを
提供し続けます

エンジニア価値
豊かな「エンジニア人生」を目指す
すべてのエンジニアに対して、
最適な「機会と場」を
提供し続けます

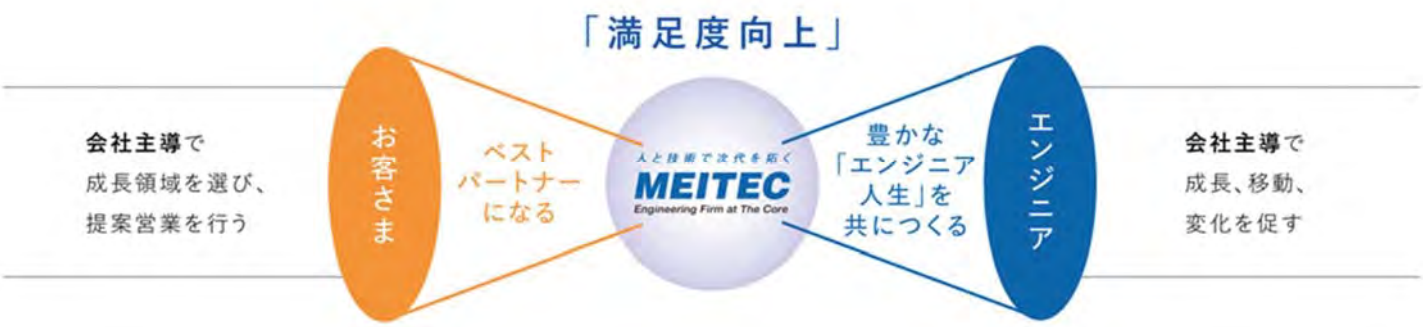
社員価値
「自立と支えあい」に共感し、
プロフェッショナルとして成長し続ける
社員に対して、最適な「機会と場」を
提供し続けます

株主価値
持続的な価値向上に基づく
「健全な利益」を創出し、
中長期的に株主還元を最大化します

追求すべき目的

The Transformation

お客さまとエンジニアの
さらなる「満足度向上」へ



Engineering Firm at The Core

私たちは「人と技術」で ものづくりの核心を担う、エンジニア集団です

エンジニアに豊かな「エンジニア人生」を提供し、
お客さまにとって欠かせない真の「ベストパートナー」を実現していく存在でありたい。

今まで「人と技術で次代を拓いてきた」私たちだからこそ、今、
そしてこれからもエンジニア採用市場・労働市場と設計・開発業務市場の
双方において、“核心”を担える集団であり続けます。

人と技術で次代を拓く
MEITEC
Engineering Firm at The Core

Engineering Firm

メイテックグループの社員一人ひとりが
「自立と支え合い」の精神でお互いを高め合い、
成長し続けるエンジニアのプロフェッショナル集団であること

The Core

製造業の技術革新において、「大事な、欠かせない」価値を
創り出す存在であること

世の中のエンジニアが職業を軸に働き続ける上で、
「大事な、欠かせない」働き方を提供できる存在であること

社会課題の解決に向けて取り組む目標

Engineering Firm at The Core

私たちは「人と技術」で ものづくりの核心を担う、
エンジニア集団です

E 環境	S 社会	G ガバナンス
9 産業と技術革新の基盤をつくろう ・技術革新を推進し、環境・エネルギー等の課題解決に貢献 ・技術革新とイノベーションを推進し産業と経済成長に貢献	8 働きがいも経済成長も ・プロフェッショナルな労働市場の創出を通じて、持続可能な経済成長に貢献	4 質の高い教育をみんなに：高度な技術教育と生涯学習の促進 5 ジェンダー平等を実現しよう：国籍・性別・年齢に関わらず、公平な「機会と場」の提供 16 平和と公正をすべての人に：グループCG方針 社員行動規範の遵守徹底

社会課題の解決に向けて取り組む目標（補足説明）

9 産業と技術革新の基盤をつくろう

人と技術で次代を拓く
MEITEC
Engineering Firm at The Core

8 働きがいも経済成長も

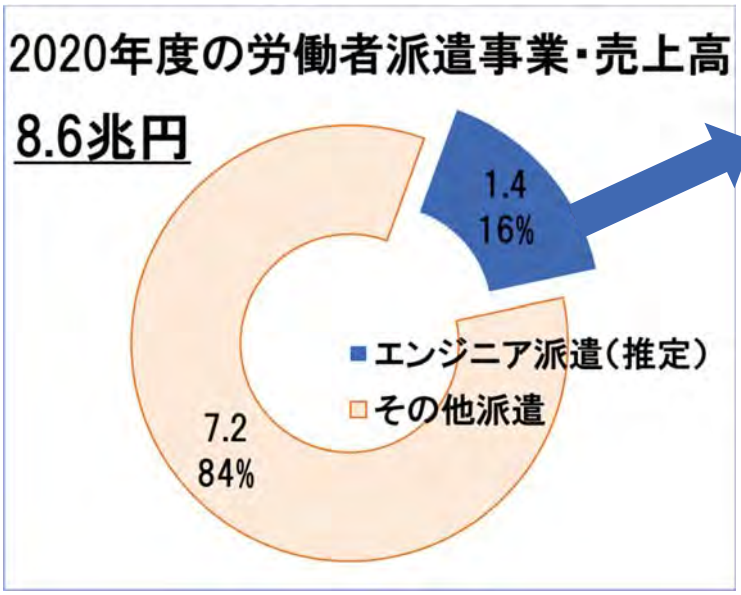
〔経営理念〕
共生と繁栄

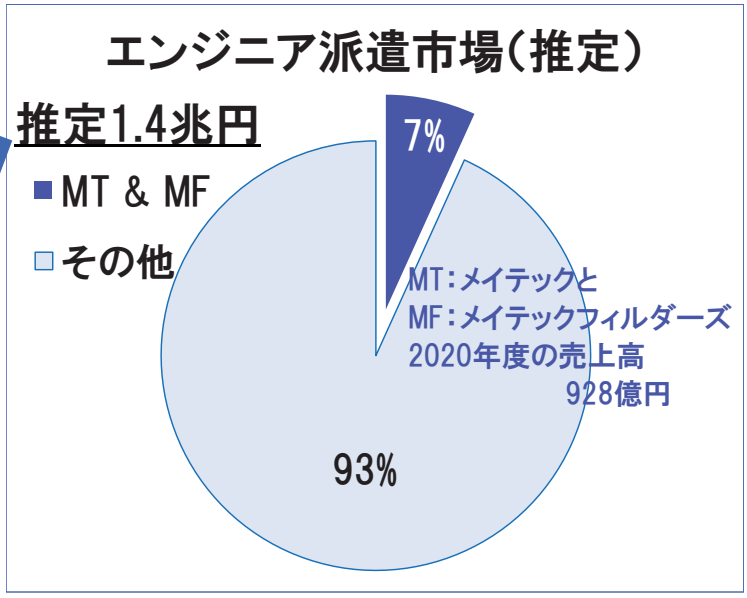
私たちエンジニア集団は、お客さまの開発業務を通じて、
お客さまと共に、社会課題の解決に取り組みます

多くのお客さまで共通するマテリアリティ

3 すべての人に健康と福祉を
7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに
11 住み続けられるまちづくりを
12 つくる責任 つかう責任
13 気候変動に具体的な対策を
17 パートナーシップで目標を達成しよう

エンジニア派遣市場（推定）





2022年3月		エンジニア派遣（推定）
メイテック	メイテックフィルダーズ	
¥5,397	¥3,830	約¥3,800

出所：厚生労働省「労働者派遣事業報告書の集計結果」、推定値は当社試算。　注：当社は推定値に関して何ら一切の責任を負いません。

コーポレート・ガバナンス

Ⅰ.会社の機関

1.組織形態　監査役設置会社

2.会社独自の取り組み

①コーポレートガバナンス委員会

委員長：社外取締役、委員：取締役全員

- 取締役会の実効性に関する分析・評価
- ガバナンス等の基本事項ほかの協議

②役員人事諮問委員会

委員長：社外取締役、委員：CEOと社外取締役

プロセスの適正性の評価

- 代表取締役CEOの選解任
- 社内業務執行取締役のパフォーマンス評価
- 取締役・監査役候補者の指名
- 社内業務執行取締役の報酬

CEO候補者選考協議会

Ⅱ.取締役・監査役(2022年3月31日現在)

	取締役	監査役	合計		
人数	9	4	13		
うち独立社外	4	4	8		構成の方針
比率	44%	100%	62%	＞	出席者の1/3以上

Ⅲ.役員報酬

固定報酬

	改正：2019年3月26日～		
代表取締役社長 グループCEO、CEO兼COO	年額	28,800千円	（月額　2,400千円）
取締役副社長	年額	24,000千円	（月額　2,000千円）
取締役	年額	19,200千円	（月額　1,600千円）
社外取締役	年額	9,000千円	（月額　750千円）
常勤監査役	年額	24,000千円	（月額　2,000千円）
非常勤監査役	年額	7,800千円	（月額　650千円）

取締役（のみ）に対する業績連動報酬など

	改正：2022年5月12日～
連結当期純利益（業績連動役員報酬を含まない）金額の	2.5%以内 上限：年額250百万円
うち社外取締役	支給対象外
うち税引後の20%相当額を	自社株式取得に充当 （役員持株会方式）

株主セグメント別保有状況

株主セグメント	2022年3月31日現在			
	株主数(名)	構成比	所有株式数(株)	構成比
銀行	10	0.2%	159,600	0.6%
信託銀行	12	0.3%	6,869,400	24.5%
生保・損保会社	19	0.4%	3,334,033	11.9%
証券金融・その他金融会社	5	0.1%	28,660	0.1%
証券会社	31	0.7%	217,893	0.8%
事業会社・その他法人	64	1.5%	147,691	0.5%
外国法人・外国人	235	5.4%	13,486,720	48.0%
個人その他	3,937	91.3%	3,856,003	13.7%
合計	4,313	100.0%	28,100,000	100.0%

会社概要　メイテック

本　　社	東京都台東区
本　　店	愛知県名古屋市西区
證券コード	9744(東証プライム)
設　　立	1974年(昭和49年)7月17日
取 引 先	上場企業および優良中堅企業約1,200社
営業拠点	東京・名古屋・大阪など国内主要都市41拠点
グループ会社	【エンジニアリングソリューション事業】 ■ 株式会社メイテックフィルダーズ ■ 株式会社メイテックキャスト ■ 株式会社メイテックEX ■ 株式会社メイテックビジネスサービス 【エンジニア紹介事業】 ■ 株式会社メイテックネクスト